

ホーチミン日本商工会議所 メコンの風

Mekong no Kaze

2024年度活動報告 2024年4月～2025年3月

表紙の言葉

2024年度は、日本とベトナムとの絆を象徴するホーチミンメトロ1号線が開通しました。日本のODA支援事業として実施された本プロジェクトは、承認から17年、建設開始から12年の歳月を経て完成に至りました。沿線周辺では住宅や商業施設などの開発が進み、ホーチミン市がさらに便利で暮らしやすい都市へと進化する上で、メトロ1号線が大きな役割を果たすことが期待されています。

会頭ご挨拶	2
在ホーチミン日本国総領事ご挨拶	3
JETROホーチミン事務所所長ご挨拶	3
特集 ホーチミンメトロ1号線、ついに開業！ 日本のODAプロジェクト in ベトナム	4
2024年度第31回総会	16
活動報告	
①事業・生活環境の改善	17
②日本人社会への協力	20
③ベトナム社会への貢献と交流促進	23
④学び	25
⑤協力と交流	28
委員会別活動報告	31
部会別活動報告	36
データでみるJCCH活動	41
JCCHニュースフラッシュ	43
事務局主要活動実績表	45
役員・委員一覧	53
部会理事一覧	56



【発行者】ホーチミン日本商工会議所(JCCH)
 【2024年度会頭】埜崎 孝雄
 【制作】JCCH広報委員会
 【表紙写真】中村 正樹(前JCCH広報委員長)
 【デザイン】田中 可奈子
 【発行日】2025年4月



ホーチミン日本商工会議所
会頭 埜崎 孝雄

ご挨拶

信頼の文化で日越をつなぐ この1年を振り返って

2024 年度の JCCH 活動を振り返ってまず心に浮かぶのは、何らかの形で日越両国の発展に尽くそうとする大変多くの方々と一緒に様々な行事に参加したことです。

部会の方も委員会の方も、アフターファイブや土日の時間を活用して皆さん全員がボランティア精神で JCCH 活動に参加している。これは「個より公、富より徳」を重んじる日本の良い文化の象徴だと思います。

その象徴的な行事の一つが、社会貢献委員会によるサイゴン動植物園での「清掃プロジェクト」です。酷暑の土曜日にもかかわらず会員企業の日本人とベトナム人が早朝から集まり、一緒に汗を流しながら動植物園の隅々まで清掃した活動は、まさに JCCH の目的と理念にある「ベトナム社会への貢献」、「会員同士の交流の促進」を体現した大きな意義のある活動だと思います。

私もこの清掃活動に参加させて頂きましたが、参加者の皆さんが笑顔で楽しみながら協力して清掃活動をしている姿がとても印象的でした。

また「ふらっと JCCH」、「各部会、委員会の講演会」、「JCCH 運動会」等々、各役員の皆さんが工夫を凝らした素晴らしい行事が多数開催されました。それらの行事には性別、世代、国籍を超えた会員の皆さんが集い、上下関係もなく意見を交換し、ビジネス交流に留まらずベトナムにおける交友関係を広げる良い機会として大変貴重だと感じています。

各人民委員会との関係も JCCH にとっては大きな財産で、私自身ホーチミン市をはじめ周辺各省とのラウンドテーブルに全て参加させて頂きました。諸先輩方の大変な努力によって築

かれた各人民委員会との良好な関係に基づくラウンドテーブルの中で、この1年を通して感じたのは、ベトナムが日本に期待すること、求めるものが、徐々に変わりつつある点です。

これまではベトナムに進出し、生産拠点や営業拠点を作って雇用を生み出してほしいというのが各人民委員会の基本的な要望でした。それに加え足元では、日本の優れた技術や知見の共有を望む声が強くなっています。

かつて発展途上国といったイメージが強かったベトナムは、経済的に徐々に豊かになってきました。しかし同時に都市部では環境問題、格差社会、少子高齢化など先進国と同様の課題に直面しつつあります。これらは日本が数十年前から経験していることです。

ベトナム政府は日本が過去経験してきた成功や失敗に基づく日本の技術なり知見を活用して、ベトナムの社会的な課題を解決したいのだと思います。特にホーチミン市を中心とした都市部の発展に伴う様々な課題は早急に対処が必要で、今後益々日本の技術や知見を求める傾向が強くなると思います。

今後紆余曲折はあっても、ベトナムが将来アジアの最重要国になることは間違いありません。その成長の過程で日本あるいは日本人がどのような形でベトナムに関わっていくのか、貢献していくのか。それは会員企業の皆様の日々の努力の積み重ねの結果として現れるものだと思います。

私もその一員として今後も皆様と一緒に、ベトナムに貢献できることを引き続き考え、行動したいと思っています。皆様、1年間本当にありがとうございました。



在ホーチミン日本国総領事館
総領事 小野 益央

ご挨拶

ベトナムの内外で変化の年 TODで新たな展開を期待

2023年4月の着任から早や2年が経過しました。2024年中はベトナム指導部で多くの人事異動があり、トー・ラム新書記長のリーダーシップの下、政府機関などの組織再編が始められました。再編はホーチミン市を含む地方政府にも及ぶ予定です。

公務員数の削減と公務員給与の改善はベトナム社会にとって長年の課題でしたが、トー・ラム新書記長が組織再編を通じこの問題に正面から取り組んでおられることに私は敬意を表したいと思います。一方で、改変が軌道に乗るまでの間、一時的に行政手続の遅延を生む可能性も指摘されています。また、20%以上とも言われる削減される公務員などが民間で新たな就業先を見つけられるかどうか、ベトナム社会の安定に影響を与え得る問題です。

改革が社会・経済の安定を維持しながらさらな

る発展の条件を整えていくことを期待しつつ、その過程で行政手続の遅れなどが生じる場合、総領事館としてもJCCHの皆様と協力しホーチミン市など地方政府に働きかけて参ります。

2024年12月には待望のホーチミンメトロ1号線が開業しました。未解決の問題を抱えながらの開業ではありませんが、メトロ開業は沿線のTOD開発などで日本企業にも様々なビジネス・チャンスをもたらすものと思います。

開業がホーチミン市及び近郊の新たな都市開発の起爆剤となるよう、またその中で日本の街造りのノウハウが生かされていくよう、総領事館としても側面支援して参りたいと思います。

米国での第二期トランプ政権発足などで貿易環境にも変化が予想されます。そうした中でも2025年が皆様のビジネスにとって良い変化をもたらす年となるよう祈念しております。



JETRO ホーチミン事務所
所長 松本 暢之

ご挨拶

新たな日越関係の構築に向けたJCCHの役割 様々な課題を乗り越えて

日本にとりベトナムの重要性は、昨今の高い経済成長や日本国内での労働力供給国としての位置づけをここで述べるまでもなく、誰もが認めるところではあります。しかし日本からベトナムへの投資額を見ると2023年はシンガポールに次いで第2位(約65億6600万ドル)から2024年は第5位(約35億220万ドル)へと大幅に減少したことから、昨今の日越関係は非常に複雑化していると感じることが多いです。

2026年の共産党大会を控え、これまでベトナムの魅力であったはずの安定した経済的・政治的安定性をリスク要因ととらえる向きもあり、特に大型プロジェクトであればあるほどしばらくは様子見というスタンスを取る企業の方が多いようです。

こうした動きにベトナム政府も対応し、反浪費運動として省庁再編や公務員改革など効率的な行政システムへの変革を打ち出しています。こうした取り組みはこれまでも繰り返し要望していたも

のではあるものの、短期的に見ると現場の混乱は今後も続くと思われますので、ベトナム政府の取り組みが円滑に実施されるためにも現場の生声を適宜ベトナム側へ伝えるとともに、会員企業に対してもその進捗について報告することが今後の日越経済関係を深化させるためにも必要なことだと考えています。

他方、ベトナムから見た日本という視点で言えば、円安等による日本離れが危惧されます。大学における外国語学習については中国語や韓国語が人気となっており、ある大学では5年前は日本語学科が最大の学生数であったものの、現在は中国語の半分になってしまったという話も聞きます。

日本の魅力、日本企業で働くことの魅力についても積極的に情報発信していくことが肝要であり、そうした取り組みにも力を入れていきたいと存じます。



ホーチミンメトロ1号線、ついに開業！ 日本のODAプロジェクト in ベトナム



ベトナム初の地下鉄「ホーチミンメトロ1号線」が2024年12月22日に開業しました。数度の遅延を経て建設開始から12年で完成。投資総額は43兆7000億VND（約2566億円）以上になりました。

ベントインからスオイティエン間の14駅（地下3駅、高架11駅）を約30分で運行し、全長19.7kmの3両編成、最高速度は地下が時速80km、高架が時速110kmです。

既に乗車された方も多いと思いますが、この地下鉄は日本のODA（政府開発援助）の一環として円借款を活用しており、数多くの日本企業が建設に携わってきました。

そこには日本の技術とノウハウが詰まっており、日本の地下鉄を超える最新都市鉄道に仕上がっているのです。

私たちは各企業を訪ねて、その事業内容と「彼らの熱い思い」取材しました。また、最後にはベトナムでの他のODA事例を載せました。日本からベトナムへ貢献の素晴らしさが伝わりますように。

ホーチミンメトロ1号線の路線図

ヴァンティン観光池



ヴァンティン公園駅
Công Viên Văn Thánh

オペラハウス



ホーチミン市民劇場駅
Nhà hát Thành Phố

お洒落なカフェ



タオディエン駅
Thảo Điền

バスターミナル



スオイティエン
バスターミナル駅
Bến Xe Suối Tiên

14
13
12
11
10
9
8
7
6
5
4
3
2
1

ハイテク区駅
Khu Công Nghệ Cao

トゥードゥック駅
Thủ Đức

ビンタイ駅
Bình Thái

フオックロン駅
Phước Long

ラックチエック駅
Rạch Chiếc

国家大学駅
Đại Học Quốc Gia



スイティエン公園

アンフー駅
An Phú

バソン駅
Ba Son

ベンティン駅
Bến Thành



ベンティン市場

NEXUSビル



タンカン駅
Tân Cảng



ランドマーク81

ビンコムメガモール



HCMC Metro Line 1

清水建設

シールドマシンでトンネル構築
地下鉄2駅舎は工夫の宝庫

トンネルを掘削するシールドマシン

SHIMIZU-MAEDA JOINT OPERATION
HCMC MRT LINE 1-Cp1 b PROJECT

Project Manager

更科 俊之 氏

ベトナム初のシールド工法
2駅間のトンネルは781m

清水建設は、前田建設工業と共同企業体を組成し、オペラハウス駅とバソン駅、そしてこの2駅を結ぶ2本のトンネル、高架部とつながる開削トンネルを作りました。総延長は約1.75kmです。

最初は2014年8月に長さ190mのオペラハウス駅を建築。オペラハウスを含む歴史的建造物が近隣にあるため、地盤沈下等を極力抑える地中連続壁を作って掘り進めました。同駅は地下4階と深く注意が必要なため、「逆巻き工法」という方法で工事を進めました。

次に建築したのが長さ240mのバソン駅で、こちらは地下2階構造であることから、より工事の進捗が早い「順巻き工法」を採用しました。その際に想定外の出来事が…。「バソン駅周辺には以前造船所があったのですが、大量の鉄の塊や錨等が出てきて、これらを撤去しながらの施工となりました」

次は開削トンネルです。バソン駅の先にあるヴァンティン公園駅は高架駅のため、地下から地上までの534mのトンネルを「順巻き工法」で作りました。

最後は、ベトナム初となるシールドマシンによるトンネルの掘削です。オペラハウス駅

は地下2階と4階の上下に、バソン駅は地下2階に平行に並んで線路が入るため、オペラハウス駅からの上下2本のトンネルを徐々に並列にし、バソン駅につなげました。

シールドマシンは日本製でおよそ直径6m、全長8m、重量250t。比較的広いバソン駅から2017年5月に掘り進め、オペラハウス駅に到達したのが10月。ここでマシンを解体し再びバソン駅まで運び、2本目の掘進を2018年1月に開始、7月に終了しました。

「781mのトンネル掘削完了後、駅舎の内装仕上げや電気・設備工事に入りました」

地域の特徴をデザイン
随所に日本式の気配り

両駅舎には数々の工夫があり、まずはデザインです。オペラハウス駅は歴史的建造物の側の駅なので温かみのある配色とし、改札前のコンコース天井はオペラハウス風の装飾としました。一方、バソン駅はサイゴン川沿いなのでモノトーンな配色とし、コンコース中央の天井は波型としました。

「バソン駅ではバンティン駅行きのプラットホームの壁に

波紋、スオイティエン駅行きでは気泡を描き、自分のいるホームがすぐにわかるようにしています」

高齢者や子ども、障害者への配慮は日本基準を採用。日本のバリアフリーガイドラインに沿った誘導タイル、手すりには行き先を記した点字、車椅子で移動できる各階のエレベーター、トイレにはベビーチェア、多目的トイレにはベビーバットを設置しました。

2014年8月から2024年10月の工期10年に及ぶ作業人数は延べ人数で、日本人約1400人月、ベトナム人約9000人月、インドネシア人やイギリス人など第3国人約320人月で、関連企業を含めた総人数は約156万人日にもなります。

「ベトナムの方々に長年愛用されている日本製品と同様、日本企業施工のメトロ1号線も長きに渡り利用して頂ければと思います」



1本目のトンネルが達成！

HCMC Metro Line 1



三井住友建設

ターミナル駅に将来の施工 困難な現場に元技能実習生



地中連続壁を施工中のベンタイン駅全景



SMCC-CIENCO 4 JV
Project Manager
下山 和彦 氏

ベンタイン駅は1万2000㎡ 特殊な技術をベトナムに

三井住友建設はベトナムの大手建設会社 CIENCO 4との共同企業体を組成して、ベンタイン駅と隣のオペラハウス駅までの開削トンネルを建設しました。ベンタイン駅は延長240m、トンネルは延長510mで、総延長は750mです。

工事は2016年11月に開始され、地中連続壁を施工した後、その内部を鋼製支保工(突っ張り棒)を用いて支え、開削する順巻き工法で建設しました。掘削時は日本の技術である「情報化施工」も用いられました。重要構造物であるベンタイン市場や周辺家屋への影響を最小限に抑える目的で、地下水や周辺地盤の挙動をリアルタイムでモニターしながら掘削するという日本の技術です。

また、ベンタイン駅周辺にはベトナム戦争前に鉄道駅が存在したため、掘削の途中で当時のレールや枕木などが発見されるエピソードもありました。

「この駅は出入口が6か所あり、約1万2000㎡ととても広いのです。その理由はわかりますか？」

ベンタイン駅は起点駅であると同時にターミナル駅で、将来は2号線、3A号線、4号

線が乗り入れる予定です。そのため現在は半分程度しか使用されておらず、プラットフォームのある地下2階より下の地下3～4階には、斜め45度で交差する2号線のコンコースやプラットフォームの一部が既に建設されています。

構造物は将来を見据えた計画のため、床、天井の高さ、厚さが場所によって大きく異なり、複雑なコンクリート形状のため、未経験の作業員では鉄筋・型枠を組むなどが難しい状況でした。そこで日本から熟練技術を持つ職長を招聘し、困難な施工に対応しました。また、彼らの下で活躍したのは、日本で働いていた元技能実習生のベトナム人です。

「日本で学んだ技能を大いに発揮し、現場のローカルリーダーのみならず通訳として日本人とベトナム人の橋渡しも行いました」

工事最盛期には職員約100人が従事し、作業員数は昼夜合わせて1日1000人を超えました。関連企業を含めて、工事完成までに参加した延べ人数は100万人以上です。

細心の注意と行動で無事故 象徴は巨大なトップライト

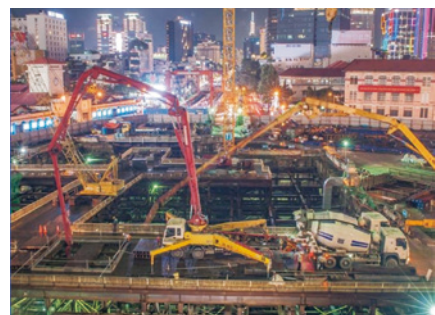
安全面では、日本人の安全専任者を中心に、日本式の安全活動や教育を実施しまし

た。日々のパトロールや不安全箇所の是正、安全意識の向上にも努めました。また、共同企業体全体で「Speed Beauty with Safety」というスローガンを掲げ、朝礼では意識向上及び団結のため唱和をしました。

「日本国内でも類を見ないほど高難度の大規模開削工事でしたが、無事故で完了できたのが何よりうれしいです」

ベンタイン駅の象徴は、ベトナムの国花である蓮の花をイメージしたトップライトです。蓮を模した天井から駅地下までが巨大な吹き抜けとなっています。駅の建築仕上げ工事には、ベトナムで活躍している日系企業が数多く携わり、日本と同じ品質、仕上がりを目標に施工が行われました。

メコンの風の表紙のモノクロ写真が、実はこのトップライトです。お気づきになりましたか？



夜間にも行われたコンクリートの打設

HCMC Metro Line 1



住友商事

長大な高架を作る土木の技術 高架11駅と車両基地も建設



架設機械による高架の架設



Sumitomo-CIENCO6 Consortium
Administration Manager
一色 尚 氏

17kmに及ぶ高架橋の建設 ベトナム初の様々な工法

住友商事はベトナムの大手建設会社 CIENCO 6との共同企業体として、17.2kmの高架区間の土木・建築工事を請け負っており、11の高架駅、車両のメンテナンスなどに使う車両基地の建設も含まれています。

高架(高架橋)はメトロ1号線が走る「上部工」とそれを支えるいくつもの「下部工」に大きく分かれます。

下部工はまず杭打ち機で穴を掘り、鉄筋

かごを入れた後にコンクリートを流す「場所打ち杭」が大半を占め、17.2kmの高架区間で約3000本の杭を打設し、コンクリートミキサー車にして約10万台分のコンクリートが使われる大規模プロジェクトでした。

上部工(橋桁部分)は17km超の桁を短い工期で完成させる必要があったことから、「プレキャストセグメント工法」を採用しています。

これは橋桁をトレーラーで運搬可能なブロック状の形にしてヤード(工場)で大量生産し、現場に運搬して、架設機械で架橋

する手法です。現場での施工時間を短縮できることに加え、ヤードで管理された環境で製造するため品質管理が容易になり、高い品質を保つことが可能になるというメリットがあります。

また、現場での作業を少なくすることができ、17kmという長物

で安全管理が難しい状況の中、現場の安全性を高めることにも役立っています。

「通常日本の公共工事では1~2km程度の工区に分けて発注されるのが普通ですから、17kmにわたる高架工事というのはあまりお目にかかれないと思います」

タンカン駅は屋根に工夫 全体を管理する車両基地

11の駅舎は基本的に同じデザインですが、高架区間の2つ目の駅であるタンカン駅だけはデザインが異なります。この駅は将来5号線も乗り入れるターミナル駅と位置付けられており、ホーチミン市郊外からサイゴン川を渡って市内中心部に入ってくるゲートウェイ的な位置付けもあって、東京ドームのように屋根が膜材で作られています。

トゥドゥック市にある車両基地は約21haの広さで、敷地には車両留置線、運行指令施設、車両メンテナンス建屋などが建設されました。指令室では運行会社が駅と列車の運行を管理しており、メンテナンス建屋では車両が日々保守・整備されています。「2012年7月の着工から約12年を要して開業した今、日々メトロ1号線が走っているところを見ると、胸に来るものがあります」



架設機械で一つずつブロック(セグメント)を架設

HCMC Metro Line 1

日立製作所

車両、電気、通信、信号、軌道…
11のサブシステムを一括請負

「ほど良くカーブ」した車両の先頭のデザイン

Hitachi, Ltd. Ho Chi Minh City
Urban Railway Line 1 Project Office
Project Manager

永澤 一彦 氏

無線式の信号システムなど
日本を超える最新の地下鉄

日立製作所は17編成の車両、電力供給システム、券売機・改札機など、合計11にもなる鉄道サブシステムを納入しました。設計、調達、製造、現地試験まで含めたEPCと呼ばれる一括請負です。

山口県の笠戸事業所で製造された車両が到着したのは2020年10月。車体は日本の都市鉄道と基本的に同じですが、大きな違いが5つあります。

ベトナムの右側通行に合わせて運転台は右側へ、バイクのホーンと同じく警笛は手動ボタン方式に、腰掛はヒーター不要なので強化プラスチック、乗客の忘れ物防止で網棚はなくして、熱帯気候から空調装置は1両に2台としました。

「あまり気付かれませんが、車両の先頭が角ばってなくて、少し丸まっています。『ほど良くカーブを付けてほしい』という要望からでした」

サブシステムは他にも、電力会社からの電力を適切な電圧に変換してパンダグラフに送る「電力供給システム」、エスカレーターや消火設備などビル監視システムとも連携した「設備診断システム」、列車無線、電話、監視カメラ、旅客放送などの「通信システ

ム」があり、無線方式の「信号システム」は日本の地下鉄も導入を開始した最新版です。「各種情報を無線で伝送するCBTC方式を採用することで、安全に高密度運転ができます」

プラットフォームで行先を表示するような「駅構内案内表示板」、ハノイの都市鉄道にはない「ホーム柵」は地下区間で全面式、高架区間で腰高式です。

サブシステムは土木作業がある程度の形になってから始めるため、現地でのスケジュール調整が大変だったそうです。また、土木関連の作業スピードで手配する人数や機材が変わるので、その対応にも苦労したと聞きます。

改札機はICカード対応
券売機が大きくなった訳

車両基地の「車庫設備」は、車両をメンテナンスするための設備です。また、列車に電力を供給する電線の「架線」と「軌道」(レール)も日立製作所が施工しました。レールの軌間(幅)は日本より広くて世界標準の1435mmで、メトロ1号線ではこうした世界規格が多く採用されています。

「改札機」は日本規格で、紙の切符ではなくスイカやパスモと同じ非接触ICカード対

応。「券売機」では現金で購入しますが、取り扱う紙幣が9種類、加えて硬貨が3種類あります。ベトナムで硬貨は流通していませんが、将来使う可能性があるとの要望からです。



車両留置線に入ったメトロ1号線

「紙幣9種類、硬貨3種類など世界的にもあまり例がなく、券売機が大きくなりました(笑)」

このような10程度のサブシステムを一括して動かしただけは日本ではないそうです。なぜなら、顧客である日本の鉄道会社は歴史が長いので、車両や信号などは個別に発注するからです。

「現地採用者を含めて1番多い時で300人以上、関連企業を含めると1日1000人以上で作業をしていました」

HCMC Metro Line 1

日本工営

プロジェクトを牽引するコンサル業務
設計から進捗まで全体をマネジメント

高架区間での乗客を避難させる訓練



NJPT Association for General Consultants' Service
HCM City Urban Railway Construction Project
Ben Thanh - Suoi Tien Section (Line 1)
Deputy Project Director / Project Manager (Elevated)

石原 義之 氏

プロジェクトの初期から参画
顧客に寄り添った管理業務

日本工営はコンサルタントの共同企業体の幹事会社として、土木、建築、電気、軌道、信号、通信、車両といった事業全体の基本設計、入札支援、工事中の施工監理、開業前トレーニングまでのコンサルタント業務を担当しました。

そのため、2008年2月に基本設計を開始してから、2024年12月の開業まで業務が続いています。開業後は2025年1月から2029年12月の5年間の予定で、アドバイザーとして運営維持管理業務のサポ

ートを継続する予定となっています。

基本設計とは詳細な設計を行う前の概略の設計で、鉄道の路線、駅位置、運行計画、適用システムの選定などを行い、それを基に事業費、工事期間、工事区分、工事請負企業への発注条件、契約条件などを決めていきます。

入札の支援は事業の内容、契約企業の能力、契約条件、要求仕様・性能などの詳細を入札図書として取りまとめ、発注者の承認を得て完成させます。

その後に入札公示を経て、応札した企業の技術面や価格面などの評価を行い、候補企業の選定及び契約交渉にかかる発注者

へのアドバイスなどをします。

本事業の発注者とは事業主体であるホーチミン市都市鉄道管理委員会(MAUR)であり、メトロの運行運営はホーチミン市都市鉄道運営会社(HURC1)が行っています。

工事に入ってからではプロジェクト全体のマネジメント業務として

契約管理、施工監理業務を行いました。最も重要な安全の管理から、品質、工程・進捗の管理、設計、施工方法、支払いの管理、係争の対応などまで、顧客に代わってプロジェクト全体の管理(プロジェクトマネジメント)もします。

「この事業は日本工営にとっても、都市鉄道分野への本格参入を図った最初の大型案件でした」

プロジェクトの最初から参画
顧客に代わって全体を管理

開業後の鉄道の安定した運営維持管理のため、現在は主にHURC1の支援を行っています。開業前に必要なトレーニングは終了しているものの、ホーチミン市にとっては初めての都市鉄道で、まだまだ不慣れな部分は当然あり、運営を通して改善すべき点は改善していかなければならない状況です。これはどのような鉄道事業者にも共通することだそうです。

「作って終わりではなく、持続的に活用して頂けるようにすることが我々の次の仕事です。こうした支援は他国と一線を画す、日本のODAの特徴でもあります。今後の目標としては、近い将来運営維持管理の全てを、ベトナムの方が主体となって回せるようになって頂くことです」



トンネル内での訓練

HCMC Metro Line 1

JICA

ODAの実務を担当する機関
資金融資やソフト面でも協力

車両基地で停泊するメトロ1号線の車両



国際協力機構

交通・運輸担当次長

福田 千尋 氏

総額約2000億円の融資
鉄道運営や職員にも協力

JICA(国際協力機構)は日本のODAを一元的に行う実施機関であり、世界150以上の国と地域で事業を展開しています。このODAでは、途上国政府が設計や工事等を受注した企業に支払う資金の融資の他、途上国政府が行う入札全般や受注企業の契約管理なども案件監理の一環としてサポートしています。

2002～2004年、JICAが技術協力として「ホーチミン都市交通計画調査」にて都市鉄道マスタープランを策定。その中で高い優先度となった1号線について、2006年にJBIC(国際協力銀行:当時)が補完調査し、ベトナム政府の要請を受けて事業開始に至りました。

「合計で2000億円規模となる円借款は4段階での融資となりました。長期にわたる大規模プロジェクトの場合、事業の進捗に応じて段階的に融資することで、実施過程での資金計画や技術的な見直しに対して柔軟に対応できるようになります」

ハード面だけでなく、「ホーチミン市都市鉄道運営組織設立支援プロジェクト(2011年～2013年)」や、東京メトロを中心とした共同企業体による「都市鉄道規制機関お

よび運営会社能力向上プロジェクト(2017～2025年)」、「鉄道学校における都市鉄道研修能力強化プロジェクト(2022～2026年)」などの技術協力も実施され、運営会社や職員へのソフト面での様々な協力もなされています。

「ホーチミン市初の都市鉄道の運営ですから、法制度など設立からサポートして、徐々に中身を入れていきました」

ハノイでもODAが再開へ
もっと日本の都市鉄道を!

ホーチミン市は1号線のほか、2035年までに計355km、2045年までに計510kmの路線とする計画です。他方、1号線は開業したものの、自動料金徴収システムは完成しておらず(2025年3月現在)、また維持管理にかかる協力や日本企業への未払い問題への対応に取り組んでいくため、1号線への日本の関与は続きそうです。

一方、ハノイでは、2021年11月に中国が支援した2A号線(全線高架)、2024年8月にはフランスが支援した3号線の高架区間が開業しました。そして長らく中断していた日本のODAによる2号線が再び動き出しそうです。

「優先度が高いホーチミンの1号線、ハノイの2号線への支援を日本に依頼されたのは、ベトナム政府の日本への信頼度を表していると思います」

その第1期は、ナムタンロン～チャンフンダオ間の総延長11.5kmで、ハノイ中心部の要となる路線です。ハノイ市内の移動でメトロが当たり前のように利用される時代の到来が今から楽しみです。

また、福田さんはホーチミンメトロ1号線をもっとアピールしたいと語ります。課題に直面しても日本の技術と知見で乗り切り、細部にまでこだわり、信頼を大切にコミットした約束は粘り強く守る、日本の企業文化の結晶ともいえます。

「私は様々な国の都市鉄道プロジェクトにかかわってきましたが、ホーチミンメトロ1号線は国内初の地下鉄でありながら、国際的にみてもハイレベルな仕上がりだと感じています」



能力向上プロジェクトの合同会議(2022年)

秘蔵の写真をご紹介!

日系企業のフォトライブラリー

清水建設

元造船所があったバソン駅周辺からは、
掘削中に巨大な錨を発見!



バソン駅で開催された絵本
「地下鉄ができるまで」の読み聞かせ会

三井住友建設

鉄道からの熱処理換気やトンネル火災時の
排煙に使う巨大なファン設置



3基の門型クレーンを使った
大掛かりな工事

住友商事

中々見られない
トゥドゥック市にある
車両基地の全景



別の角度から見た
車両基地全景

日立製作所

紙幣だけでなく将来の硬貨にも対応した
券売機はビッグサイズに



港から車両基地までホーチミン市内を
通って車両を運搬中

日本工営

着工前のベンタイン駅周辺の
空撮写真(2010年)



ホーチミンメトロ1号線の運行を管理する
指令室内の様子

JICA

ベンタイン駅の象徴、
トップライトのハニカムパネルの施工



電線を丁寧に張っていく
架線工事の様子

タンソンニャット国際空港ターミナル建設事業

合計1300万人の利用が可能に ベトナム南部の空の窓口を支援



写真：久野真一（JICA）

ベトナムでは1980年代後半からの経済成長を背景に航空需要が急激に伸び、旅客ニーズへの対応が急務でした。そこで2002年3月からホーチミン市のタンソンニャット国際空港において、国際旅客ター

ミナルビルの建設と付帯施設一式の整備を支援しました。

2007年8月から利用が開始された4階建ての新ターミナルビルは、約10万㎡の面積に8つの搭乗橋を持ち、建設前の2倍の乗客が利用可能に。ベトナム政府の輸送能力の拡大施策と合わせて、ホーチミン市と周辺地域の経済活動に大きく寄与しました。

当初の計画以上の成果を実現しただけでなく、当地における建設工事の質の向上にも貢献しました。また、環境面や労働者の安全面の配慮などで総合的に優れた事業として、ベトナム建設省から表彰を受けて

います。

国際線ターミナル到着フロアの外を出た場所には、ベトナム政府からの感謝の言葉を刻んだ石碑があります。日本語でも書かれていますので、ぜひご一読ください。

ハノイのノイバイ空港国際線ターミナルも日本のODAによる支援で、インフラ整備だけでなく給油、手荷物管理、商業施設開発などの空港運営でも日本式を実現しています。



写真：久野真一（JICA）

ホーチミン市水環境改善事業

洪水、浸水、水質汚染…を改善 ホーチミン市の「水」を守る事業



ホーチミン市のサイゴン川下流域は湿地帯に囲まれ、市内には潮位の影響を受ける運河や河川が複雑に入り組んでいます。降雨量も多いため浸水や洪水の被害が多く、この協力では旧市街地中心地区での

運河の改修、排水網の整備、下水処理施設の建設が行われ、都市環境と域内運河の水質改善に貢献してきました。

2001年に始まったこの事業は昨年8月に竣工、東南アジアで最大規模の下水処理施設建設を支援しました。下水処理場には遠心脱水機、汚泥掻き機など、日本製の水処理機械が導入されてい

し、総延長6.4kmの運河堤防も整備されました。

ホーチミン市では今後も人口増加に伴う水質汚濁等がさらに進む可能性があり、下水道・排水システムの整備が行われています。このように日々の暮らしから見えないところでも、都市・生活衛生環境の改善に日本の技術が活かされています。



ダニム水力発電所増設事業

ベトナムにとって初の大規模発電事業 高低差を活かした水力発電



ベトナムは電力需要の伸びが著しく、特に日系企業が多く進出する南部地域では、電力インフラの整備が産業界での喫緊の課題でした。ニントゥアン省のダニム水力発電所は1959年から日本が継続的に協力して

おり、80MWの水力発電機の増設や導水路トンネルの建設、水力・土木設備の調達などを支援しています。

このプロジェクトの特徴の一つは、静水頭799m、最大勾配45度の状況で、2.3kmの水圧管路を建設したことです。東南アジアで最も急な勾配の水力発電所であり、追加の水圧管路は既存の水圧管路からわずか3.1mの場所に設置され、爆発物を使用しない手動掘削方法が選ばれました。

次に、堅固な花崗岩の中に既存のトンネルと平行に位置する、4823mという導水路トンネルの建設です。2つのトンネル間は

約50～60mと近距離で、爆発物の使用を最小限に抑えて環境に優しい工法が採用されました。

請負業者だけでなくJICAも安全に留意し、安全アドバイザーの派遣や建設の安全性の確認により、負傷者や死亡事故はありませんでした。建設は2021年に完了して、現在はベトナム南部に安定した電力を供給すると同時に、良好な運用が行われています。



カントー大学強化事業

農業、水産、環境分野の人材 カントー大学の研究強化を支援



写真：JICAのWebサイトから引用

経済成長が続くベトナムでは産業人材育成のニーズが高まり、2000年代中盤から大学・短期大学の数が増加していました。

ただ、その増加に対して博士号を有する

大学教員の割合が低い、学生に対する教育品質の確保が難しいなど教育の質の向上が追いついておらず、また、研究資機材の不足で十分な教育・研究環境の確保が難しいなどの課題が顕在化していました。

この協力はカントー大学の農業、水産、環境分野における研究と教育能力の強化及びカントー大学の研究環境の整備を通じて、特に農水・産業の成長と、気候変動を含むメコンデルタ地域の環境問題への対応に必要とされる人材の質と量の向上を図り、ベトナムの経済発展に寄与するものです。

2015年7月に始まったこのプロジェクトでは、研究施設2棟の建設、研究・教育機材の購入、同大学教職員への日本への学位取得留学・短期研修の機会提供、指定研究テーマへの助成が行われました。

現在は、対象となった研究テーマをより発展させていくために、日本側大学との共同研究などに取り組む後継プロジェクトが実施されています。



写真：JICAのWebサイトから引用

2024年度 第31回定期総会

2024年4月25日

2024年度のホーチミン日本商工会議所の活動は2024年4月25日(木)に行われた総会で始まりました。冒頭、小野益央在ホーチミン日本国総領事からご挨拶を頂いた後、2023年度会頭の水嶋恒三氏より同年度の活動報告、日越外交関係樹立50周年記念事業特別委員長の古澤康之氏よりJCCHが実施した50周年事業について報告が行われました。また、本総会では2024年度会頭の選任も行われ、埜崎孝雄氏が就任しました。



▲ 三期連続の会頭任期を終えた水嶋恒三氏



▲ 2024年度会頭の埜崎孝雄氏



▲ レバリーサイゴンで開催された

<2024年度活動目標> 信頼の文化で日越をつなぐ

JCCHの歩み

1993年	ホーチミン市で活動する日本企業の団体として「ホーチミン日本人友好倶楽部」が発足。
1994年	組織の拡大に伴い、名称を「ホーチミン日本商工会」に変更。英文表記は「Japanese Commerce and Industry of Ho Chi Minh City」(通称:JCIA)。会員社数は69社。初代会長は広岡 正夫氏(三井物産)。
1997年	ホーチミン日本商工会立ホーチミン日本人学校を設立。この年からチャリティバザーを毎年開催(～2014年度)。売り上げをベトナムの医療機関へ寄付。
1998年	5月、英文名称を「The Japanese Business Association of Ho Chi Minh City」(通称:JBAH)に変更。9月28日、ホーチミン市人民委員会から正式団体として認可を受ける。事業および生活環境の改善を目的とするホーチミン市人民委員会との「ラウンドテーブル」を開始。
2002年	この年から「ラウンドテーブル」を毎年開催。
2011年	会員企業数500社を突破。
2015年	社会福祉施設への訪問・支援を開始。
2016年	マラソン大会を初開催。1,000人以上が参加しJCCHのスポーツ関連イベントとしては最大規模に。
2018年	4月、名称を「ホーチミン日本商工会議所」に変更。英文名称はThe Japanese Chamber of Commerce and Industry in Ho Chi Minh City(通称:JCCH)。会員企業数1,000社を突破。
2021年	新型コロナウイルス第4波の影響で、数カ月間に及ぶ社会隔離政策が実施され、役員会、委員会、部会、セミナー、講演会など、オンラインを中心とする実施体制へ。
2022年	新型コロナウイルスの収束により徐々に対面による実施体制に移行。マラソン大会の後継イベントとして大運動会を初開催。

*社名、肩書は当時のもの。

JCCH歴代会頭一覧

代目	年度	氏名	所属
初	1994	広岡 正夫	三井物産
2	1995～1997	伊東 淳一	日商岩井
3	1998	大北 裕之	住友商事
4	1999	岩間 憲道	三井物産
5	2000	山崎 末次	三菱商事
6	2001	浅田 弘一郎	住友商事
7	2002	今津 康雄	三菱東京UFJ 銀行
8	2003	会川 精司	日商岩井
9	2004	松林 勝	三菱商事
10	2005	脇 郁晴	双日
11	2006	石田 泰	丸紅
12	2007	中川 卓男	三菱東京UFJ 銀行
13		深山 隆	味の素
14	2008	大西 範和	住友商事
15	2009	小須田 森仁	双日
16	2010	柏木 利夫	三菱商事
17	2011	那須 泰孝	みずほコーポレート銀行
18	2012	森 光廣	ビナキョウエイスチール
19	2013	山口 貴美雄	双日
20	2014	百石 洋人	三菱商事
21	2015	坂上 勉	丸紅
22	2016	前野 浩二	JFE スチール
23	2017～2018	門脇 恵一	三菱商事
24	2019～2020	岡田 英之	TMI 総合法律事務所
25	2021～2023	水嶋 恒三	双日
26	2024	埜崎 孝雄	三菱UFJ銀行

*社名は当時のもの。

活動報告

Theme

1

事業・生活環境の改善 ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル

事業環境および生活環境の改善を目的として、ホーチミン市人民委員会と毎年開催しているラウンドテーブルは1998年の開始から23回目を迎えました。このプロジェクトは半年ほどの期間をかけて、JCCH会員企業の皆様が日頃抱える事業・生活環境上の課題について、ホーチミン市人民委員会に対して改善要望を行う場となります。

2024年度は7月に会員企業に対してアンケート調査を行ったところ、各分野における意見・要望が70項目集まりました（法務・労務：29項目、税務・通関：19項目、生活環境：22項目）。これらを担当委員会と協議して16項目に絞り込み、2023年度までの要望のうち追跡調査を実施した7項目の結果をとりまとめ、9月に要望書を提出しました。その後、一つ一つの項目に対してJCCHとホーチミン市人民委員会の担当者が、具体的な解決策を検討していくため実務者レベルでの話し合いを重ね、本会議が12月9日に行われました。

ラウンドテーブルキックオフミーティング（2024年6月28日）

JCCHからは中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、古澤康之副会頭兼生活環境委員長と上田真也事務局長が出席しました。



プレラウンドテーブル（2024年10月15日、16日、18日）

ラウンドテーブル本番に向けて、実務者レベルの会合であるプレラウンドテーブルが開催されました。本会合は、ホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）にて法務・労務、税務、通関、生活環境の4チームに分かれて議論を行いました。



ラウンドテーブル本会議（2024年12月9日）

ホーチミン市からはホアン副人民委員長並びにホーチミン市貿易投資促進センター（ITPC）のチャン副センター長ら主要部局の幹部が出席し、日本側は小野益央在ホーチミン日本国総領事、JCCHからは埜崎孝雄会頭、および各ワーキングチームリーダーを務めた中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、古澤康之副会頭兼生活環境委員長、新田和男労務委員長と、上田真也事務局長らが出席しました。

ホアン副委員長と埜崎孝雄会頭は「日本とベトナム間の人的交流のさらなる拡大、若い労働力の活用、専門家の育成と招致を推進し、両国にとってWin-Winの関係を構築する」と合意しました。また、今後、ESG対応やベトナム製品の輸出支援、日系企業誘致に向けた整備などの新たな取り組みについても議論する意向が示されました。



ラウンドテーブルフィードバックセミナー（2025年1月16日）

ラウンドテーブルで取り上げた改善要望について、当局との議論の成果を報告するとともに、労働許可書、社会保険、税務の問題などの最新動向を中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、古澤康之副会頭兼生活環境委員長から解説しました。



2024年度ラウンドテーブル開催までの経過

6月中旬～ 7月下旬	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのキックオフミーティング(6月28日)。 JCCH会員企業に本ラウンドテーブルに向けた要望を募集。その結果70項目の要望が集まった。
7月～8月	事業環境委員会、労務委員会、税務・通関委員会、生活環境委員会にて70項目の要望を16項目に絞り込んだ。
8月	ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)との懇親会(28日)。
9月	ホーチミン市側に当該16項目の要望書および2023年の部局の回答に関するフィードバック7項目を提出(9日)。
10月	事業環境委員会(法務・労務チーム、通関チーム、税務チーム、生活環境チーム)がホーチミン市側とプレラウンドテーブルを開催(15日、16日、18日の計4セッション)。
11月	プレラウンドテーブル後、各要望についての評価を実施し、ホーチミン市側に評価コメントを提出。 新規の16項目に関する評価:11項目について「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」 2023年度の要望で追跡調査をした7項目に関する評価:いずれも「問題は完全に解決された、または少なくとも実質的に大幅に改善された」
12月	ラウンドテーブル本会議(9日)。
1月	ラウンドテーブルフィードバックセミナー(16日)。

活動 報告

Theme

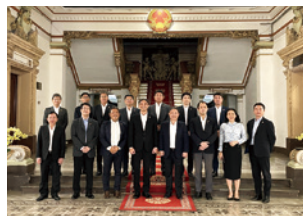
1

事業・生活環境の改善 ホーチミン市および周辺省との連携

2024年度役員による各省人民委員会表敬訪問

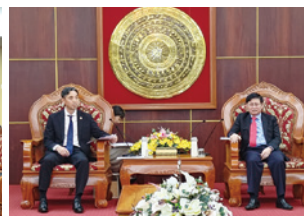
ホーチミン市人民委員会 ドウック副委員長表敬訪問 (2024年5月14日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭をはじめ、松本暢之副会頭、中川幹久副会頭兼事業環境委員長、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、白木友宏副会頭兼組織・規約委員長、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長、中村正樹広報委員長、畠山央監事、ホーチミン市部会の武村先部会長、タントアン・リンチュン部会の鎌田武部会長が出席し、ホーチミン市人民委員会からはドウック副委員長の他、外務局、ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)の幹部らが出席しました。



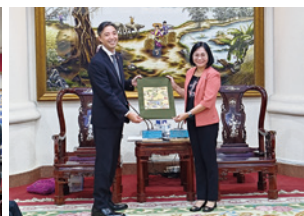
バリアンタウ省人民委員会 カン副委員長表敬訪問 (2024年6月4日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、白木友宏副会頭兼組織・規約委員長、バリアンタウ部会の竹野建二部会長、市川勇太副部会長が出席し、バリアンタウ省人民委員会からはカン副委員長の他、外務局、税務局、計画投資局、工業団地管理委員会、財務局の幹部らが出席しました。



ドンナイ省人民委員会 ホアン副委員長表敬訪問 (2024年6月6日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長、ドンナイ部会の南良勉部会長、石井博之副部会長、林正敏理事、片桐晴一理事、福宿伸一郎理事が出席し、ドンナイ省人民委員会からはホアン副委員長の他、商工局、計画投資局、外務局、工業団地管理委員会の幹部らが出席しました。



ロンアン省人民委員会 ウト委員長表敬訪問 (2024年6月11日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭をはじめ、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長、臼井勝彦社会貢献委員長、ロンアン部会の原田昌平部会長が出席し、ロンアン省人民委員会からはウト委員長その他、人民委員会事務局、計画投資局、外務局、税務局、税関局、工業団地管理委員会の幹部らが出席しました。



ビンズン省人民委員会 ザイン副委員長表敬訪問 (2024年6月12日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭をはじめ、松本暢之副会頭、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長、ビンズン部会の長戸隆彦部会長、酒匂孝教副部会長が出席し、ビンズン省人民委員会からはザイン副委員長の他、外務局、商工局、工業団地管理委員会の幹部が出席しました。



地域の枠を超えた連携

ビンズン省税関局とビンズン部会所属日系企業との対話集会 (2024年5月28日)

JCCHからはビンズン部会の長戸隆彦部会長、白子修理事および日系企業20社60名の代表者、実務担当者が出席しました。対話集会では、ビンズン省税関局幹部から「税関申告・申告者に関する法規制」、「輸出加工・生産・EPE企業におけるよくある申告不備」、「法規制により未解決の残存課題」について説明が行われました。第2部では質疑応答として、みなし輸出入取引やVAT課税率等の参加企業から寄せられた質問・要望に対して、関係部局の担当者から回答がありました。



ロンアン省人民委員会とのFDI会合 (2024年5月29日)

JCCHからはロンアン部会の原田昌平部会長および日系企業7社12名の代表が出席しました。会員企業が事前に提出した道路インフラ整備、日本から帰国した技能実習生の人材活躍に向けたデータベース化等13項目の事前質問・要望に対して、関係部局の担当者から回答があったほか、当日は参加企業からも多くの質問が寄せられました。



バリアンタウ省人民委員会と会員企業とのラウンドテーブル (2024年7月31日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長、バリアンタウ部会の竹野建二部会長およびバリアンタウ部会会員企業の代表ら総勢16名が出席しました。バリアンタウ省からはトー人民委員長および各部局責任者が出席しました。本会合は、株主代表権の移転に関する内容や太陽光発電設備設置などを含め、新規要望が3件、継続要望が5件ありました。特に継続要望の中には、長年にわたり解決に至らないものが複数あり、企業の資金繰りに大きく影響するVAT還付問題やIRC延長承認の問題も挙げられました。



ビンズン省人民委員会と日系企業との意見交換会 (2024年11月22日)

JCCHからは埜崎孝雄会頭、ビンズン部会の長戸隆彦部会長、酒匂孝教副部会長、白子修理事および日系企業20社25名の代表が出席しました。ビンズン省側はハー副委員長、各部局代表者らが出席し、ビジネス、労働・在留許可、および投資・都市計画分野に関する意見要望を中心に意見交換を行いました。



活動
報告

Theme

2

日本人社会への協力
日本人学校の運営

ベトナム南部唯一の日本人学校であるホーチミン日本人学校は1997年にホーチミン日本商工会(当時)によって設立されました。現在も引き続き、JCCHが子どもの教育になくてはならない日本人学校の運営を同校と連携しながら行っています。

入学式 (2024年4月10日)

2024年度は小学部83名、中学部52名、計135名の新入生を迎えました。JCCHからは埜崎孝雄会頭らが出席し、新入生たちに門出を祝う言葉を贈りました。



ホーチミンミュージックフェスティバル (2024年6月16日)

長年にわたり「ホーチミン祭」として親しまれていた本行事ですが、2024年度から名称が変わり、中学部では新たに学年別で合唱が行われるようになりました。

「Music Star～輝くのは君たちだ～」を全体テーマに、各学年がそれぞれテーマを掲げて約1か月間一生懸命に練習し、本番ではステージで素晴らしい合唱や合奏を披露していました。



運動会 (2024年9月29日)

運動会スローガンは「情熱活気～心を燃やして立ち上がれ～」。当日は晴天に恵まれ、小学部では1・2年生、3・4年生、5・6年生と中学部がそれぞれ徒競走や団体競技、表現運動を行いました。



第5期校舎増築起工式 (2025年3月6日)

第5期校舎増築起工式が執り行われ、上阪克之日本人学校運営委員長、上田真也事務局長らが参列しました。増築を行う新校舎は主に中学部向けとし、普通教室のほか、理科室や音楽室などの特別教室も設置され、同校における教育環境の向上を図ります。



卒業証書授与式 (2025年3月11日)

在校生や保護者の方々が見守る中、小学部6年生76名、中学部3年40名が卒業を迎え、JCCHからは上阪克之日本人学校運営委員長、上田真也事務局長が出席しました。卒業生の皆さんには、自分の夢を大切に、そしてその実現を目指して、これからも大いにチャレンジしていただきたいと思います。



活動報告

Theme

2

日本人社会への協力 在越在留邦人の生活のため

ベトナムでは在住日本人を支援する日本人会が存在しておらず、JCCHがそれに代わる役割を担っています。JCCHは日本人学校の運営、スポーツ・文化に関する各種交流イベントの実施、情報提供などを行っています。

JCCH運動会2024（2024年10月13日）

スポーツ・文化委員会主催で開催され、90社約3200人が参加しました。開会式では埜崎孝雄会頭と岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長から力強い挨拶があり、活気あふれる雰囲気の中スタートしました。どの競技においても、選手と応援団が一体となり、国籍の壁を越えて勝利を喜びました。

【種目優勝企業一覧】

運動会

- 大縄跳び：ワタベウェディングベトナム様
- 台風の目：ロッテベトナム様
- 玉入れ：ロッテベトナム様
- 綱引き：鴻池ビナトランスロジスティクス様
- リレー：ホーチミン日本人学校様

【各競技 優勝・準優勝企業一覧】

- バドミントン
 - 1位：アシックスソーシングベトナム様
 - 2位：エースコックベトナム様
- フットサル
 - 1位：セッツカートンベトナム様
 - 2位：カジマベトナム様

【協賛企業】

- エースコックベトナム様
- 森永ニュートリショナルフーズベトナム様
- 大塚ニュートラシューティカルベトナム様
- ミニストップベトナム様
- ベトナム大正様
- インターフード様
- ハウス食品ベトナム様
- ロッテベトナム様

【医療支援を頂いた企業】

- ラッフルズメディカルクリニック
ホーチミンシティ様

【運営協力を頂いた団体】

- ホーチミン7バドミントンクラブ様(バドミントン)
- アドバンスFC様(フットサル)



▲ 毎年恒例の準備体操



▲ 体育館で行われたバドミントンも大盛況



▲ 白熱のリレー対決



▲ 子どもたちの姿もたくさん見られた



▲ 各社一丸となって競い合う



▲ エースコックベトナム様がキッチンカーを出店



▲ 準備・運営を行ったスポーツ・文化委員会



▲ フットサルで優勝したセッツカートンベトナム様

JCCH懇親ゴルフ大会2024（2024年12月15日）

スポーツ・文化委員会主催にてタンソンニャットゴルフ場で開催しました。記念すべき第40回目となる本大会には231名が参加し、会員企業間の親睦を深める絶好の機会となりました。

2024年度は参加者全員向けの参加賞として13社から商品・パウチャー等をご提供頂いたほか、200社より協賛品を頂きました。さらにホールインワン賞には以下4社よりご提供頂きました。

【ホールインワン賞スポンサー企業（以下順不同）】

- ホテルデュバルクハノイ様
- ホテルニッコーハイフォン様
- フォントウイコーポレーション様
- 両備インターナショナル ロジスティクス ベトナム様



▲ グループに分かれてコースを回った



▲ 参加者は親睦を深めた



▲ 入賞者には豪華景品を贈呈



▲ 参加賞

2025年JCCH新年会（2025年1月14日）

スポーツ・文化委員会主催でホテルニッコーサイゴンにて開催し、600名を超える会員・ご家族の皆様が参加しました。2024年度は新たな取り組みとして、3社によるステージパフォーマンス、4社によるPRブース出展、そして写真家・中村正樹様による写真展を実施しました。

【ステージパフォーマンス参加企業】

- FT INDUSTRIES VIETNAM CO., LTD様
- 古河オートモーティブパーツ様
- 矢崎EDSベトナム様

【PRブース出展企業（協賛品）】

- ベトナム日清製粉様
(ミートソース、ミートソーススパイシー、炊き込みご飯の素)
- ベトナム大正様
(リボビタンhoney can、リボビタンTKA can)
- 森永ミルクベトナム様
(ミルク生活(粉ミルク)、脂肪ゼロドリンクヨーグルト)
- エスファイズサイゴン様
(Vietnam Coffee Cake)



▲ ハイクオリティなダンスパフォーマンス



▲ 外国商工会議所の方々も参加



▲ PRブースでは食品関連企業様がサンプル商品を配布



▲ 会場では活発な交流が行われた

中村正樹様による写真展では、ベトナムの日常や風景が美しく切り取られた作品が展示され、多くの方がじっくりと鑑賞されていました。

第10回ジャパン・ベトナム・フェスティバル／JVF(日越友好平和ぼんおどり大会)（2025年3月8日）

本イベントは、9月23日公園で開催され、JCCHは同8日に「日越友好平和ぼんおどり大会」を共催しました。毎年恒例の「日越友好囃」と「日越平和音頭」に加え、大阪・関西万博を記念した「大阪・関西万博ぼんおどり」や、子どもたちも楽しめる「子供盆おどり唄」を踊りました。当日は、会員企業のご家族やベトナムの学生をはじめ、数多くの方が参加くださり、日本の伝統行事である「ぼんおどり」を国境を越えてともに楽しむことができました。



▲ 会場は熱気に包まれた



▲ 大阪・関西万博の公式キャラクターであるミヤクミヤクが登場

活動
報告

Theme

3

ベトナム社会への貢献と交流促進
ベトナム社会との共存共栄を目指して

私たちが事業活動を行い、生活しているベトナム社会への感謝の気持ちを込めて、社会貢献活動を行うことはJCCHの重要な取り組みの一つです。2024年度も、環境問題への取り組み、子ども支援、日本語交流を目的として、引き続き活発に活動を行いました。ベトナム社会の持続可能な未来を目指し、会員企業から頂いた年会費の一部を、ベトナム社会への貢献活動に活用しました。

清掃プロジェクト（2024年8月17日、9月8日、12月22日、2025年2月15日）

ベトナムにおける環境問題への取り組みとして2019年に始まり、毎回多くの会員企業の社員やそのご家族が参加する人気のイベントです。2024年度は4回開催され、延べ635名が参加しました。特に、ベトナム人スタッフとそのご家族の参加が多く、活気に満ちた活動となりました。

【開催場所・参加者数】

第一弾：サイゴン動植物園	参加者164名
第二弾：ホーチミン日本人学校周辺	参加者140名
第三弾：バリアブントウ省 ロンディエンビーチ	参加者181名
第四弾：タオダン公園	参加者150名



▲ 参加者にJCCH特製の帽子をプレゼント



▲ 参加枠は毎回すぐに埋まる

子ども支援プロジェクト（2024年9月5日、9月14日、12月15日、2025年1月16日）

学業の機会が限られている子どもたちや身寄りのない子どもたちに対して、居住・学習施設の支援を行い、ベトナム社会への貢献を目指しています。また、将来を担う子どもたちに必要な支援を提供し、同時に日本への関心を持ってもらうことを目的にしています。

2024年度は会員企業と連携し、3つの施設に対して計4回の物資提供をはじめとする支援を行いました。また、施設訪問の際には、子どもたちと日本文化の体験や交流も行いました。

【支援先の施設・支援内容】

第一弾：ホーチミン市ストリートチルドレン友の会

八瀬尾大輔副社会貢献委員長が入学式に出席し、児童たちを応援する祝辞を述べました。

第二弾：ビレッジ・チャンス（社会福祉施設）

● 日本航空様	： リュック、ノート、ペン、牛乳、お菓子、寄付金、中秋節の提灯
● ヤクルト様	： ヤクルト
● JCCH	： リュック、ノート、ペン、牛乳

第三弾：トゥー・ドゥック・ユース・ビレッジ（社会福祉施設）

● 全日本空輸様	： 紙飛行機作り体験
● ケイズベトナム様	： 食用油、インスタントラーメン、砂糖、牛乳
● 三菱電機ベトナム様	： 冷蔵庫1台
● クレハベトナム様	： 牛乳、インスタントラーメン
● ロジテムベトナム様	： 物資配送、インスタントラーメン
● JCCH	： 冷蔵庫1台、テレビ2台、炊飯器7台

第四弾：ホーチミン市ストリートチルドレン友の会

● 日本航空様	： 紙飛行機作り体験
● ケイズベトナム様	： 食用油、インスタントラーメン、砂糖、牛乳
● ロジテムベトナム様	： インスタントラーメン
● マイナビベトナム様	： インスタントラーメン、砂糖
● ジュピター パシフィック フォーワーディング様	： 物資配送
● JCCH	： お弁当



▲ 埜崎孝雄会頭も参加(第二弾)



▲ 子どもたちは紙飛行機作りや扇子にお絵描きなどを通じて、日本文化を体験(第三弾)



▲ 毎回必ず子どもたちとの交流の時間を設けている(第四弾)

日本語サポートプロジェクト（2024年8月22日、10月19日、2025年1月10日、3月11日）

ベトナム人学生の方々に授業で学んだ日本語を実際に使用して頂くことで、JCCHの活動や日本への留学、日系企業への就職等への関心を高めることを目的に2021年度から開催しています。

【開催場所・参加者数】

第一弾：レホンフォン高校 参加者27名

日本語専門コースを持つ高校で、「日本人がまだ知らないベトナム」をテーマに、生徒たちが5グループに分かれて日本語で発表を行いました。JCCHから参加した学生たちに、エールを込めてサクラクレパスベトナム様の文房具を贈呈しました。



▲「日本人がまだ知らないベトナム」をテーマに日本語で発表(第一弾)

第二弾：ドンズー日本語学校 参加者50名

ホーチミン市で最も歴史のある日本語学校の1つです。入学後間もない学生も含む50名が参加し、日本語での演劇発表や自己紹介を通じて、積極的に交流を行いました。



▲委員と学生がグループを作り、日本語で会話を楽しんだ(第二弾)

第三弾：レホンフォン高校 参加者18名

ホーチミン市教育訓練局主催の中高生日本語スピーチコンテスト決勝が開催され、約300名の中から選ばれた18名が参加しました。臼井勝彦社会貢献委員長らが審査員を務め、優勝・準優勝者には富士フィルムベトナム様よりご提供頂きましたチェキが贈られました。大会後にはJCCHと総領事館がブースを出展し、書道やおみくじなどの日本文化を紹介しました。



▲願い事を書いた言葉は「合格」(第三弾)

第四弾：ホーチミン市人文社会科学大学東日クラブ 参加者40名

設立28年を迎える日本語会話クラブ「東日クラブ」の学生と、JCCH会員14名、臼井勝彦社会貢献委員長らが交流会を実施しました。参加したJCCH会員からは、「熱心に日本語を学ぶ姿に刺激を受けた」「また参加したい」との声が多く、大学側からも「日系企業の方と直接話せる貴重な機会だった。今後も継続してほしい」との感想が寄せられました。



▲ベトナムの学生の興味や関心を知る良い機会になった(第四弾)

JASSO主催 2024年度日本留学フェアにて講演（2024年10月19日）

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)主催にて、レックスホテルで開催しました。本イベントには、社会貢献委員会に所属するベトナム人委員が登壇し、日本への留学や日系企業での経験を元に、留学に関する有益な情報を参加者に伝えました。



▲講演後には質問が寄せられ、かなりの反響

活動報告

Theme 4

学び 事業に役立つ学び

JCCHでは各分野の専門家が講師として登壇する、会員対象の無料セミナーを定期的に開催しています。2024年度も税制と法律に関するセミナーから、快適で安全な暮らしのための生活情報まで、広範囲にわたるセミナーを実施しました。セミナー以外にも様々な学びの機会など、当地で事業や生活をされている会員企業向けに役に立つ情報を提供しています。

ゼロから分かる脱炭素入門・現地法人に求められる脱炭素アクションプラン（2024年5月17日）

税務・通関委員会主催にてパレスホテルで開催しました。本セミナーは、脱炭素に関する基本的な情報から、上場企業に対する非財務情報の開示義務化が日系現地法人に与える影響と、その対応方法について講演が行われました。講演後の受講者アンケートでは、「知識が少なくても、講師のわかりやすい説明で非常に理解しやすかった」等、好評なご感想を頂きました。

講師：金子 隼士氏(MC Solutions社)



▲ 金子 隼士氏



▲ 当日は74名が参加

ベトナム労働法セミナー(基礎編)（2024年10月2日）

労務委員会主催にてウェブ形式で開催しました。本セミナーには、労務委員会に所属する弁護士と企業委員が登壇し、ベトナム労働法の基本や事例を用いた対応例を解説しました。当日は206名が参加しました。

委員長：新田 和男氏(オリンパスベトナム)

副委員長：中川 幹久氏(長島・大野・常松法律事務所)

講師：大矢 和秀弁護士

(西村あさひ法律事務所 ホーチミン事務所)

三木 康史弁護士

(アンダーソン・毛利・友常法律事務所 ホーチミンオフィス)

企業委員：小野瀬 貴久氏(EYベトナム)

川崎 美奈子氏(JETROホーチミン事務所)

今井 裕氏(サイゴンプレジジョン)

坂野 慎後氏(富士フィルムビジネスイノベーションベトナム)※代理での参加

村上 明氏(シャープマニュファクチャリングベトナム)

原田 昌平氏(双日協同飼料)

児玉 圭太氏(VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL)

福宿 伸一郎氏(コーケンベトナム)

藤井 博之氏(オリンパスベトナム)



▲ 大矢 和秀弁護士



▲ 三木 康史弁護士



▲ 企業委員によるパネルディスカッション

ホーチミン市税関局とのセミナー・意見交換会（2024年10月7日）

税務・通関委員会とホーチミン市税関局の共催にてハイブリッド形式で開催しました。本会合には、在ホーチミン日本国総領事館の古舘誠幾首席領事を来賓としてお迎えし、日本人代表者や実務を担当するベトナム人スタッフなど150名が参加しました。

セミナーでは、税関局の担当者が新しい税関政策や輸出入税に関連する法律について講義を行い、意見交換セッションでは、事前に会員から寄せられた質問や意見を元に税関局担当者が回答を発表しました。また、参加者からも多くの質問が寄せられ、活発な意見交換が行われました。



▲ 古舘誠幾首席領事より日越両言語でご挨拶を頂いた



▲ ホーチミン市税関局の方々と撮影

生活情報セミナー（2024年12月10日）

生活環境委員会主催にてハイブリッド形式で開催されました。本セミナーは、ベトナムでの生活に役立つ情報をテーマに2部構成で実施され、143名が参加しました。

講演後の受講者アンケートでは、「事例を通じて日本との比較ができ、当地での治安についての感度が高まりました」や「ベトナムの医療事情がよくわかり、非常に参考になりました」等、好評なご感想を頂きました。

第一部：実録！ベトナム公安24時
小野瀬 貴久氏(EYベトナム)

第二部：ベトナム緊急医療の現状と事例
平野 衣花氏(ウェルビーベトナム)



▲ 小野瀬 貴久氏



▲ 平野 衣花氏

イミグレで出国を差止めされないために（2025年1月21日）

税務・通関委員会主催にてウェブ形式で開催しました。本セミナーでは、小野瀬貴久副会頭兼税務・通関委員長が、「税務負債」による出国差止めの問題を解決するための対応方法について、具体例を交えて詳しく解説しました。なお、本セミナーには2024年度としては最多となる367名の方が参加しました。

講師：小野瀬 貴久氏(副会頭兼税務・通関委員長)



▲ 2024年度に開催したセミナーで最大の参加者数

第2回ベトナム労働法セミナー（2025年2月27日）

労務委員会主催にてウェブ形式で開催しました。本セミナーは、「ベトナムの実務家のための賃金設計～賃金のリアルなお悩みへの対策をライブ解説～」をテーマにベトナムで日系企業がリアルに直面している賃金周りの悩みの事例を共有しながら、その原因と対策の方向性をライブで解説しました。

講演後の受講者アンケートでは、「実例を聞くことができて大変参考になった」、「実務に特化しており非常に良かった」等、好評なご感想を頂きました。

講師：長浜 みぎわ氏(アイコニック)

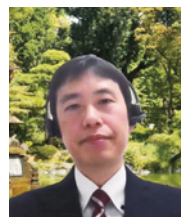


▲ 当日は245名が参加

ベトナムにおけるフロン対策について（2025年3月12日）

事業環境委員会、一般社団法人フロン等温室効果ガスグローバル削減推進協議会(FGRA)およびFGRA会員企業であるエムゼットとの共催、さらにベトナム日本商工会議所(JCCI)の後援にて、ウェブ形式で開催しました。

本セミナーは、2024年1月から一定規模以上の機器廃棄時の冷媒フロン回収が義務付けられるなど、ベトナムにおけるフロン規制の強化が進んでいる現状を受け、JCCHおよびJCCIの会員企業への情報共有を目的として実施したものです。当日は77名が参加しました。



▲ 香具 輝男氏

挨拶：香具 輝男氏(環境省地球環境局フロン対策室長)

講演：第一部：地球全体から見たフロン削減の重要性

笠井 俊彦氏(一般社団法人フロン等温室効果ガスグローバル削減推進協議会(FGRA)会長)

第二部：ベトナムのフロン法制について

溝原 章氏(エムゼット社長)

羽田 大剛氏(MZVINA代表)

税務・通関委員会主催 税制セミナーシリーズを開催(全5回)

税務・通関委員会では毎年大好評の税制セミナーを2024年度も開催しました。2024年度は全てWEB開催とし、5つのテーマに分けて会員企業の関心の高い、税制の基礎や税務調査の最新動向について解説しました。参加者総数は707名となり、各回とも9割以上の方よりアンケートで「大変良かった」や「良かった」と回答頂きました。

第1回

- 日 時 : 2024年10月15日(火)
- テーマ : 個人所得税編
- 講師名・役職 : GRANT THORNTON VIETNAM ディレクター 仁科 仁氏
- 視聴者数 : 110名



▲ 第一回講師の仁科仁氏

第2回

- 日 時 : 2024年11月19日(火)
- テーマ : 移転価格税制編
- 講師名・役職 : EY ベトナム シニアマネージャー 高野 宏太氏
- 視聴者数 : 168名

第3回

- 日 時 : 2024年12月17日(火)
- テーマ : 付加価値税・外国契約者税編
- 講師名・役職 : AGS ACCOUNTING ディレクター 鶴田 明久氏
- 視聴者数 : 122名

第4回

- 日 時 : 2025年1月21日(火)
- テーマ : 法人税制編
- 講師名・役職 : エスコンサルティングベトナム ゼネラルディレクター 高田 真氏
- 視聴者数 : 120名

第5回

- 日 時 : 2025年2月18日(火)
- テーマ : 税務調査編
- 講師名・役職 : KPMG ディレクター 谷中 靖久氏
シニアマネージャー 古屋 秀規氏
- 視聴者数 : 187名

活動
報告

Theme

5

協力と交流

国内外との積極的なネットワーク作り

JCCHでは部会の枠を超えて会員同士が交流できる機会を提供し、ベトナム国内外の団体との協力関係の構築にも積極的に取り組んでいます。また、会員の皆様にとって有益な場となるよう、ネットワークの拡大と深化に努めています。

新規赴任者交流会（2024年6月19日、2025年2月26日）

企業交流委員会の主催により、2024年度は2回開催しました。各回の参加者には来越して1か月以内の方もおり、新しい環境に対する不安もある中で、同じような境遇の方々と交流を深めることで「ベトナム赴任同期」のネットワークが広がりました。

参加者からは「同年代の方と知り合えて良かった」や「ベトナムでの生活が楽しになった」など、新しい出会いを楽しむ声が寄せられました。

【開催場所・参加人数】

第1回：ザリバー オリエンタル 67名(2024年1月～赴任者対象)

第2回：ホテルニッコーサイゴン 77名(2024年6月～赴任者対象)



▲ 埜崎孝雄会頭による乾杯発声



▲ ホテルニッコーサイゴンでは広々としたガーデン会場で開催

JCCH会員企業と在越台湾商工会(CTCVN)会員企業との交流会（2024年6月27日）

JCCHと台湾商工会(CTCVN)による初の共催イベントが、ウィンザープラザホテルで開催しました。このイベントは、JCCHとCTCVNに所属する日系・台湾系企業の商談機会の創出を目的としており、今回は「機械加工、金属、化学」分野を中心に、日台14社がブースを出展し、参加企業は計56社、97名(日本側:40社63名、台湾側:16社34名)でした。

参加者からは「今後のビジネスにつながる出会いがあった」、「台湾企業とのつながりを持つ良いきっかけになった」などの感想が寄せられました。



▲ 日台企業による活発な交流



▲ 参加企業の代表者たち

フランス商工会(CCIFV)主催 Bastille Day 2024（2024年7月12日）

マイハウスサイゴンホテルで開催された本イベントに松本暢之副会頭と上田真也事務局長が招待を受けて出席しました。「Bastille Day」はフランスの建国記念日(7月14日)を祝うイベントで、日本では「パリ祭」としても知られています。

会場では、ベトナムに進出しているフランス系企業のチーズ、パン、チョコレートなどが提供されました。



▲ CCIFVの方々との撮影



▲ 多くの参加者が集まり、華やかな雰囲気の中での交流

ASEAN事務総長とのASEAN日本商工会議所連合会(FJCCIA)との対話会合（2024年7月17日）

インドネシア・ジャカルタのASEAN本部で開催された本会合に埜崎孝雄会頭、松本暢之副会頭、上田真也事務局長が出席しました。本対話会合は、ASEAN各地の日系企業が直面しているビジネス上の課題や改善点をASEAN事務総長に直接伝える場として、2008年から毎年開催されています。

2024年度は、在ASEAN各地の日本商工会議所の代表者が、将来のASEANのサステナビリティや人材育成に向けた日系企業の貢献、さらにASEANが魅力的な事業展開先となるための制度やルール面での改善について提案や要望を行いました。



▲ ASEAN加盟9か国・10都市にある日本商工会議所の代表者が出席



▲ 参加者による集合写真

カインホア省(ニャチャン)視察団 (2024年10月10～11日)

事業環境委員会主催による国内視察を実施し、埜崎孝雄会頭、中川幹久副会頭兼事業環境委員長、上田真也事務局長ならびに会員企業16名が参加しました。

1日目にはカインホア省の概要と投資誘致政策について、同省人民委員会と対話会合を行いました。2日目はバンフォン経済区を訪問し、石炭火力発電所や同地域で進行中の産業集積地開発を視察した後、長年にわたってカインホア省で事業を展開しているベトナム大正カインホア工場を訪問しました。

【訪問先企業】

- バンフォン石炭火力発電所様(住友商事が出資する発電所)
- ベトナム大正 カインホア工場様



▲ 埜崎孝雄会頭とカインホア省人民委員会ホアン常務副委員長



▲ 参加者による集合写真

日本式経営研修参加ベトナム企業とJCCH会員企業とのビジネス交流会 (2024年10月16日)

企業交流委員会およびJICAが支援するベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)の共催により開催しました。本交流会は、日本企業とベトナム企業のネットワーク構築やビジネス連携の機会を提供することを目的に行われ、製造業や建設業など、さまざまな業種のベトナム企業35社と日系企業25社が参加しました。



▲ 各社のブースでの活発な交流・名刺交換



▲ JCCHとVJCC代表者による集合写真

新規入会企業とJCCH役員・理事との交流会 (2024年10月17日、2025年2月20日)

企業交流委員会の主催により、2024年度に2回開催しました。このイベントは、新入会員と理事・役員との親睦を深め、入会後にJCCH活動に積極的に参加してもらうことを目的に毎年開催されています。新規入会企業の紹介の時間が設けられ、各社の商品やサービスが紹介されました。

【参加した新規入会企業数】

- 第1回：30社(2023年7月～2024年7月に入会)
第2回：21社(2024年9月～2025年1月に入会)



▲ 加賀本崇至企業交流委員長の挨拶



▲ ステージ上での各社の紹介

ふらっとJCCH (2024年10月30日、2025年3月5日)

企業交流委員会の主催により、2024年度に2回開催しました。本イベントは、「ふらっと、気軽に立ち寄れる交流の場」をテーマに、2017年度から毎年実施されています。

部会や業種、世代を超えた会員同士の交流の場として、JCCH会員間のネットワークづくりに定着しています。毎回多くの参加者が集まり、会員企業からも好評を得ているイベントです。

- 【参加者数】 第1回:113名
第2回:115名



▲ 長い間親しまれている会員交流の場



▲ 会場に並んだ色鮮やかなPizza 4P'sの料理

ドンナイ省 日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会 (2024年11月14日)

JCCHとドンナイ省人民委員会の共催により、ザ ミラ セントラル パーク ホテルで開催しました。本イベントは、機械製造業を中心とした日系企業の現地調達率向上や、現地企業との商談機会の創出を目的として行われました。ベトナム企業41社と、JCCH会員企業を含む日系企業38社が出展しました。

参加者からは「ベトナム企業の技術力に驚いた」や「20社以上と商談でき、手応えを感じた」など、前向きな声が多数寄せられました。



▲ 2024年度で8回目の開催



▲ 当日の様子は日越双方のメディアが紹介

JCCHとフランス商工会(CCIFV)交流イベント (2024年11月21日)

在ホーチミン日仏商工会議所の交流促進を目的に、在ホーチミンフランス総領事公邸で開催しました。日本側より、小野益央在ホーチミン日本国総領事、埜崎孝雄会頭、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長のほか、執行役員・部会長含め23名が参加しました。

当日はボジョレーヌーボーの解禁日でもあり、乾杯前にはワインに関するプレゼンテーションが行われました。日系およびフランス系の食品企業も出展し、ワインと日本食とのマリアージュを楽しみました。



▲ ボジョレーヌーボーで乾杯



▲ ワインを片手に参加者同士の会話が盛り上がる

インド(ニューデリー周辺)視察団 (2024年11月27日～12月1日)

事業環境委員会は、恒例の海外視察団を実施し、インドのニューデリー周辺を訪問しました。今回の視察は本会議所として初めてのインド訪問であり、埜崎孝雄会頭や中川幹久副会頭兼事業環境委員長、岩本英久渉外担当兼スポーツ・文化委員長、上阪克之日本人学校運営委員長、上田真也事務局長ら11名が参加しました。

視察団はJETROニューデリー事務所や、インドで長年にわたって事業を展開している日系企業を訪問し、インド経済や日系企業の動向について学びました。



▲ 近年高まる日系企業のインドへの関心



▲ 参加者による集合写真

【訪問先企業・団体】

- JETROニューデリー事務所様
- NURA様(富士フィルムグループが運営する健診施設)
- ダイキンエアコンディショニングインド ニムラナ工場様(エアコン製造)
- NXインド ニムラナロジスティクスセンター様(物流倉庫)
- マルチ・スズキ・インド・リミテッド マネサール工場様(自動車製造)

委員会別活動報告

JCCHには、「事業環境改善」や「社会貢献」など、それぞれ異なるテーマを持つ10の実行委員会が活動しています。委員会は、委員長、1名以上の副委員長と複数の委員によって構成されており、JCCHの活動目的である事業及び生活環境の改善を促進するのがこれらの委員会です。委員会への参加は任意で、また所属部会に関係なく、各委員会の主旨と専門性に基づき組織されています。

事業環境委員会



委員長
中川 幹久
(長島・大野・常松法律事務所)

2024年度のホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルでは、会員企業から寄せられた70件の意見・要望を精査し、その中から16件を新たな要望として取りまとめました。本会合では、ホアン副委員長が「両国にとってWin-Winの関係を構築したい」と述べ、23年間のラウンドテーブルの成果を基盤に新たな取り組みについて議論する意向を示しました。今後もホーチミン市当局との協力をさらに強化していきます。

ラウンドテーブル

- 6月28日(金) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのラウンドテーブル・キックオフ会合
- 7月8日(月) 2024年度ラウンドテーブルに向けたアンケート発出
- 9月9日(月) ホーチミン市人民委員会への要望書提出
- 10月15日(火) プレラウンドテーブル・法務労務チーム
- 10月16日(水) プレラウンドテーブル・税務、通関チーム
- 10月18日(金) プレラウンドテーブル・生活環境チーム
- 12月9日(月) ラウンドテーブル本番

主な活動

- 6月19日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 8月28日(水) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)との懇親会
- 9月18日(水) ベトナムビジネスフォーラム(VBF)-ホーチミン市人民委員会との会合
- 9月18日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 10月10日(木) ~11日(金) 国内視察団(カインホア省)
- 11月27日(水) ~12月1日(日) 海外視察団(インド・デリー周辺)
- 12月11日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 12月16日(月) 日越共同イニシアティブ・中間評価会合
- 1月15日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 1月16日(木) ラウンドテーブルフィードバックセミナー
- 2月19日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 3月7日(金) 食品安全法の施行政令(政令15/2018/ND-CP号)を改正する政令の第2草案に対するJCCH要望書を提出
- 3月12日(水) JCCI日越共同イニシアティブ委員会
- 3月12日(水) 事業環境委員会特別セミナー「ベトナムにおけるフロン対策について」
- 3月19日(水) 食品安全法の施行政令(政令15/2018/ND-CP号)を改正する政令の第3草案に対するJCCH要望書を提出

委員会会合

- 7月2日(火)、7月31日(水)、10月9日(水)、11月11日(月)

労務委員会



委員長
新田 和男
(オリンパスベトナム)

2024年度は労務関連セミナー、賃金実態報告、ラウンドテーブルなどにより、会員企業への労務関連情報の提供、同分野の諸問題や要望の取りまとめ、行政への課題提言を行いました。特に労務関連セミナーでは、労働法の基礎や最新動向に加え、賃金設計に関わるノウハウなどを事例も交えて分かりやすくお伝えし、実践的な内容とすることに努めてきました。

ラウンドテーブル

- 6月28日(金) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのラウンドテーブル・キックオフ会合
- 10月15日(火) プレラウンドテーブル(法務・労務)
- 12月9日(月) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(本番)

主な活動

- 10月2日(水) 第1回労務セミナー開催(オンライン形式)
テーマ:「ベトナム労働法セミナー(基礎編)」
講師: 西村あさひ法律事務所 大矢 和秀氏
アンダーソン・毛利・友常法律事務所 三木 康史氏
- 11月29日(金) 2024年度 JCCH賃金実態調査報告書発行
- 2月27日(木) 第2回労務セミナー開催(オンライン形式)
テーマ:「ベトナムの実務家のための賃金設計」～賃金のリアルなお悩みへの対策をライブ解説～
講師: アイコニック General Director 長浜 みぎわ氏

委員会会合

- 6月6日(木)、7月4日(木)、9月5日(木)、12月5日(木)、2月19日(水)

税務・通関委員会



委員長
小野瀬 貴久
(EYベトナム)

2024年度は恒例の税制ウェビナーを5回開催したことに加えて、「ゼロから分かる脱炭素入門セミナー」や「テト直前緊急セミナー(まさか私が出国できないなんて…イミグレで出国を差止めされないために)」,さらにはホーチミン市税関局との共同セミナーも開催し、多くの会員企業に参加頂きました。また、近年力を入れているホーチミン市のみならず周辺各省の税務局や税関局とも積極的に交流や意見交換を重ね、多く意見書も提出させて頂きました。今後もこれらの活動により会員企業の事業に貢献できることを目指して参ります。

税制ウェビナーの開催

- | | | |
|-------------|---------------|---------------------------------|
| ● 10月15日(火) | 個人所得税制編 | 講師 GRANT THORNTON VIETNAM 仁科 仁氏 |
| ● 11月19日(火) | 移転価格税制編 | 講師 EYベトナム 高野 宏太氏 |
| ● 12月17日(火) | 付加価値税・外国契約者税編 | 講師 AGS ACCOUNTING 鶴田 明久氏 |
| ● 1月21日(火) | 法人税編 | 講師 エスコンサルティングベトナム 高田 真氏 |
| ● 2月18日(火) | 税務調査編 | 講師 KPMG 谷中 靖久氏、古屋 秀規氏 |

その他活動

- 5月15日(水) ビンズン省税関局との会合 (FDIが輸入の後にEPEへの販売)
- 5月17日(金) ゼロから分かる脱炭素入門セミナー
- 5月20日(月) ビンズン省税関局との会合 (FDIが輸入の後にEPEへの販売)
- 5月28日(火) カンボジア日本商工会(JBAC)税制委員会
- 5月28日(火) カンボジア大使館との意見交換
- 5月29日(水) JBAC執行役員との意見交換
- 6月3日(月) JBAC通関委員会との会合(カトライ港経由のプノンベン港への輸入)
- 6月7日(金) 税関総局(GDC)との会合(FDIが輸入の後にEPEへの販売)
- 6月21日(金) ドンナイ省税関局とFDI企業との意見交換会
- 6月26日(水) ホーチミン市税関局との「税関局と企業との対話集会」
- 9月24日(火) ドンナイ省マスタープラン発表及び投資促進セミナー
- 10月7日(月) ホーチミン市税関局とJCCH会員企業との対話集会
- 10月16日(水) 税務、通関プレラウンドテーブル
- 11月15日(金) ホーチミン市物流協会主催ロジスティクスフォーラム
- 11月22日(金) ドンナイ省税務局主催2023年度納税優良企業表彰式
- 12月9日(月) ラウンドテーブル本番
- 1月2日(木) ホーチミン市税関局式典出席
- 1月16日(木) ホーチミン市税務局長訪問
- 1月21日(火) 「テト直前緊急セミナー(まさか私が出国できないなんて…イミグレで出国を差止めされないために)」

ラウンドテーブル

- 事業環境委員会と連携し税務、通関を担当。詳細は事業環境委員会の報告を参照
- 解決できなかった案件に関してはラウンドテーブル開催後もホーチミン税務署との協議を継続

委員会会合

- 3月19日(水)

生活環境委員会



委員長（～2025年2月）
古澤 康之
(イオンベトナム)



委員長（2025年3月～）
砂金 智之
(双日ベトナム)

経済回復に伴い増加している当地在留日本人の生活環境改善と、日常生活に必要な情報発信を中心として活動を行ってきました。2024年度はセミナー参加者も大幅に増加しており、成果のあった一年と感じております。

主な活動

- 6月3日(月) 生活環境委員会…顔合わせ、本年度の方針確認
- 6月28日(金) ホーチミン市貿易投資促進センター(ITPC)とのラウンドテーブル・キックオフ会合
- 7月2日(火) ラウンドテーブル準備に向けて事業環境委員会に参加
- 7月8日(月) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルに向けたアンケート実施
- 8月12日(月) 生活環境委員会…ラウンドテーブルに向けた議論
- 9月5日(木) ラウンドテーブル向け要望事項提出
- 10月9日(水) 事業環境委員会出席(ラウンドテーブルに向けた打合せ)
- 10月18日(金) ホーチミン市人民委員会・ITPCとのプレラウンドテーブル(生活環境パート)
- 12月9日(月) ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル(レックスホテル)
- 12月10日(火) 生活環境委員会…ラウンドテーブル報告、生活環境セミナー開催(ホテルニッコーサイゴン/Webのハイブリッド開催)
テーマ:「実録! ベトナム公安24時」～身の回りで事件が起きてしまったら、あなたはどうしますか?～
講師: EYベトナム パートナー 小野瀬 貴久氏
テーマ:「ベトナム緊急医療の現状と事例」～誰にでも起こりうる重大な病気・事故の予防と対応について～
講師: ウェルビーベトナム 平野 衣花氏
- 1月16日(木) ラウンドテーブルフィードバックセミナー@オンライン
- 3月5日(火) 生活環境委員会…今期反省と次年度への申し送り事項の協議

委員会会合

- 6月3日(月)、8月12日(月)、12月10日(火)、3月5日(水)

社会貢献委員会



委員長
白井 勝彦
(サッポロベトナム)

JCCHの活動方針の中にある「ベトナム社会への貢献」、「日本人社会への協力」につき、当委員会では今後の活動実績がJCCHまたは日系企業のプレゼンス向上につなげていくべく「積み上げ」をテーマに、社会貢献を実施しました。「清掃活動」、「子ども支援」、「日本語サポート」にフォーカスした取組みを行い、また新規の取組みも実施していきます。多くの活動で会員の皆様にご協力、ご参加を頂きました。今後とも社会貢献活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

主な活動

- 8月17日(土) 清掃活動第1弾@サイゴン動植物園
- 8月22日(木) 日本語サポート第1弾(日本語交流会)@レホンフォン高校
- 9月5日(木) 子ども支援第1弾@ストリートチルドレン友の会入学式出席
- 9月8日(日) 清掃活動第2弾@7区日本人学校周辺
※日本人学校ではこの活動を機会に小学生5年生、中学部1年生の宿泊研修にて清掃活動を実施
- 9月14日(土) 子ども支援第2弾@ビレッジ・チャンス
- 9月27日(金) 清掃活動派生にて社会貢献活動と企業活動講演@7区日本人学校
- 10月19日(土) JASSO主催留学フェアにて委員会留学経験者講演
- 10月19日(土) 日本語サポート第2弾(日本語交流会)@ドンズー日本語学校
- 11月19日(火) 運輸部会にて社会貢献活動説明
- 12月15日(日) 子ども支援第3弾@トゥー・ドゥック・ユース・ビレッジ
- 12月22日(日) 清掃活動第3弾@バリアブントウ海岸
- 1月10日(金) 日本語サポート第3弾(中高生日本語スピーチコンテスト)@レホンフォン高校
- 1月16日(木) 子ども支援第4弾@ストリートチルドレン友の会
- 1月22日(水) 建設、貿易部会合同部会にて社会貢献活動説明
- 2月15日(土) 清掃活動第4弾@タオダン公園
- 3月11日(火) 日本語サポート第4弾(日本語交流会)@人文社会科学大学日本語サークル
- JCCHホームページ内「社会貢献委員会」につき改編 ①日本語、ベトナム語両語で閲覧可能 ②活動の定量掲載 ③日系企業様の社会貢献掲載

委員会会合 ※すべて火曜日

- 5月14日、6月18日、7月23日、9月17日、10月22日、12月17日、1月21日、3月11日にて8回実施
- その他チームごとの会合多数

スポーツ・文化委員会



委員長
岩本 英久
(東京海上ベトナム)

2024年度も例年と同様に、JCCH会員向けの主要イベントである運動会、ゴルフ大会、新年会を開催しました。いずれのイベントも前年より参加者が増加し、盛況となりました。特に新年会では、会員企業のベトナム人スタッフによるステージパフォーマンスや、会員企業のPRブース出展を新たに導入し、多くの方々に楽しんで頂きました。また、ジャパンベトナムフェスティバルは10回目を迎え、JCCHとしても記念すべき年としての例年の日越友好平和ぼんおどり大会に加え、ステージパフォーマンスに協賛しました。

主な活動

- 10月13日(日) JCCH運動会
- 12月15日(日) JCCH懇親ゴルフ大会
- 1月14日(火) 新年会
- 3月8日(土) ジャパンベトナムフェスティバル(JVF)での日越友好平和ぼんおどり大会
(JVF10回記念として、JCCH Tomodachi Projectステージへの協賛実施)

委員会会合

- 6月3日(月)、8月26日(月)、11月4日(月)、3月6日(木)

日本人学校運営委員会



委員長
上阪 克之
(全日本空輸)

児童・生徒数が過去最高672名(2025年1月時点)に達しました。これに伴い、教室不足に対応する第5期校舎増築を着工しており、2025年度内の竣工を目指して工事を進めています。その他、専任の事務長の採用や、教頭2名体制(2025年4月～)の導入など長年の課題解決を実現しました。

主な活動 (下記行事へ委員出席)

- 4月10日(水) 入学式
- 6月16日(日) ホーチミン・ミュージック・フェスティバル(旧ホーチミン祭)
- 9月29日(日) 運動会
- 3月6日(木) 第5期校舎増築起工式
- 3月11日(火) 中学部・小学部卒業証書授与式

委員会会合

- 5月15日(水)、7月10日(水)、9月11日(水)、11月13日(水)、1月15日(水)、2月26日(水)

企業交流委員会



委員長
加賀本 崇至
(三菱地所ベトナム)

2024年度も「ふらっとJCCH」や「新規赴任者交流会」など会員企業同士の交流会を積極的に開催しました。加えて、外部企業とのビジネスマッチングを推進すべく、例年通りドンナイ省でのビジネスマッチングイベントの他、新たに在越台湾商工会との共催イベントや、VJCCの日本式経営研修「経営塾」に参加したベトナム企業との交流イベントも実施しました。

主な活動

- 6月19日(水) 新規赴任者交流会
- 6月27日(木) 在越台湾商工会会員企業との交流会
- 10月16日(水) ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)日本式経営塾参加企業との交流会
- 10月17日(木) 新規加入企業とJCCH役員・理事との交流会
- 10月30日(水) ふらっとJCCH
- 11月14日(木) ドンナイ省ビジネスマッチング会
- 2月20日(木) 新規加入企業とJCCH役員・理事との交流会
- 2月26日(水) 新規赴任者交流会
- 3月5日(水) ふらっとJCCH

委員会会合

- 5月10日(金)、8月26日(月)、3月17日(月)

広報委員会



委員長（～2024年12月）

中村 正樹

（電通ベトナム）

会員企業にとって必要かつ有益な情報、活動内容について各種ツールを使ってタイムリーに発信し、会員への認知と満足度向上に努めました。加えて、JCCH各分会・委員会の活動や執行役員・監事の方の紹介をFacebookなどのSNS及び各メディアへの情報発信を行うとともに、JCCH Webサイトの利便性強化を図りました。

<渉外部門> 2024年度より発足した日・欧・米・韓の4会議所による合同ミーティングに参加し、各国の会議所と様々な課題について意見交換を行いました。また、各国が主催するイベントにも積極的に参加し、JCCHのプレゼンス向上に努めました。さらに、昨年に引き続きフランス商工会との合同イベントを開催し、両国の総領事にもご出席頂きました。

主な活動

- 日系・ベトナム系メディアへのリリース配布及び記事/ニュースの配信
- マンスリーレポートの発行（2024年度から再開）
- JCCH Webサイトの管理運営、社会貢献ページのベトナム語化
- セミナーのオンラインアーカイブ化
- JCCHカード加盟店の基準作成、加盟店の告知（有名ブロガーに取り上げてもらう）
- Facebookページでの執行役員・監事紹介シリーズの投稿/各分会の活動報告投稿
- 年間刊行物「メコンの風～2024年度活動報告」の制作・発行
- 他国商工会議所との交流

特別活動

- 6月11日（火） 「メコンの風（2023年度版）」発行
- 10月2日（水） 有名主婦ブロガー「ごっち」さん経由でJCCHカード加盟店紹介スタート
- 10月25日（金） 2024年度執行役員・幹事紹介FB 投稿開始
- 11月8日（金） 社会貢献委員会ベトナム語サイトローンチ

渉外部門での主な活動

- 5月9日（木） 日欧米韓4会議所会頭ミーティング
- 8月14日（水） 日欧米韓4会議所実務ミーティング
- 10月9日（水） 日欧米韓4会議所実務ミーティング
- 11月19日（火） 日欧米韓4会議所会頭ミーティング
- 11月21日（木） フランス商工会との交流イベント
- 2月11日（火） 日欧米韓4会議所実務ミーティング

委員会会合

- 6月6日（木）、7月2日（火）、9月4日（水）、10月1日（火）、11月5日（火）、12月3日（火）、2月11日（火）、3月11日（火）

組織・規約委員会



委員長

白木 友宏

（丸紅ベトナム）

会員企業数が1000社を超えて過去最高を記録する中、JCCH組織運営の旗振り役として各種制度改正や、事務局と協力してJCCH運営を担ってきました。ベトナムにおける経験豊富な委員の方々にご参加頂き、組織・規約委員会を定期的に開催することで貢献して参ります。

主な活動

- 会員企業入会・退会管理と年度内会員名簿の更新、会費徴収管理
- 諸規約・規則の整備・内規・規程類の更新
- JCCH各委員会・部会活動への助言

主な活動実績

- 2024年度会員企業向けアンケート実施
- JCCH事務局活動へのサポート（採用面接、運営他）
- 内規・規程類の整備、各種制度変更

委員会会合

- 7月3日（水）、9月11日（水）、11月06日（水）、1月8日（水）、3月25日（火）

部会別活動報告

商工会議所活動の基本となるのが「部会」です。部会は、各社事業内容もしくは地域毎に分かれており、現在、JCCHには13の部会があります。それぞれの部会に含まれる業種・地域については右の表をご覧ください。各部会は、部会長、副部会長に数名の理事を加えた役員によって運営されています。いずれの場合も、活動の基本となるのは「部会会合」で、約2か月に1回、開催されています。これに加え、所属する会員企業のニーズに合わせ、工場見学会や勉強会、親睦を深めるための新年会やゴルフなど、それぞれ特色のある活動を行っています。

部会名称	業種区分・地域
貿易部会	貿易、商業
建設部会	建設、建材関連
運輸部会	陸海空運、倉庫運輸関連
第一サービス部会	コンサル、人材派遣、広告、流通小売、内装、教育等
第二サービス部会	旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備等
IT 部会	情報通信、ITソフトウェア開発
金融・保険部会	金融保険、不動産ファイナンス
(製造業)	
タントアン・リンチュン部会	タントアン工業団地及びリンチュン工業団地入居製造業等
ホーチミン市部会	上記以外ホーチミン市及びその他地域に所在する製造業等
ビンズン部会	ビンズン省に所在する製造業等
ドンナイ部会	ドンナイ省に所在する製造業等
ロンアン部会	ロンアン省に所在する製造業等
バリアブントウ部会	バリアブントウ省に所在する製造業等

貿易部会

各分野の専門家による講演会を開催し、委員会や他部会との交流も実現



部会長(～2025年3月)
山本 亮太
(リコーベトナム)



部会長(2025年4月～)
江利川 聡彦
(豊田通商ベトナム)

2024年度は計6回の講演会を実施。テーマは①「最近の税務関連トピック、直近の税調動向」、②「ベトナム経済の足元の実体と今後の見通し」、③「ベトナム政治の今：どう変化するか？日越関係への影響は？」、④「ベトナム語講座、挫折しないための手順」、⑤「JCCH 社会貢献委員会活動共有 / 与信管理&債権回収リスクマネジメント」、⑥「社長の目標設定からベトナム人社員マネジメントにも活かせるコーチング技術」でした。

年度を通して政治経済を中心とした硬めのテーマと言語等文化に関わる柔らかめのテーマとのバランスを意識し、より多くの会員企業に興味を抱いて頂けるような講演会を開催いたしました。また、社会貢献委員会とのコラボレーションや他部会との共催による積極交流も実現できました。

また、10月と3月にはゴルフコンペも開催し、会員企業の皆様の交流の場として活用頂きました。



▲ 第一サービス部会、第二サービス部会との合同部会(11月26日)



▲ ホテルニッコーサイゴンの広場にて実施(12月22日)

建設部会

有意義な交流の場の提供



部会長
戸島 千秀
(カジマベトナム)

2024年度は計6回の定例会を開催し、各回とも90名前後の参加を頂きました。定例会の中では、「ベトナムでのBIM活用と法令対応」といった勉強会やJETRO様からのベトナム経済概況の講演を頂いた他、国土交通省のベトナム視察団を招いての情報交換や交流、他部会との合同部会を開催いたしました。

この他、現場見学会や懇親ゴルフコンペといったこれまでのイベントに加え、新たにボウリング大会やBBQなどの親睦イベントも企画いたしました。理事一同、「会員企業にとってどういった活動が有意義なのか」を考え、様々な試みを行った一年間でした。

理事団を始め、会員企業の皆様に支えられ、無事に建設部会長の任を全うすることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。



▲ 国土交通省視察団を交えての合同部会(11月28日)



▲ 懇親 BBQ(12月22日)

運輸部会

会員企業の更なる交流と情報の共有について



部会長
今津 麗
(ロジテムベトナム)

運輸部会は昼の部 4 回と夜の部 2 回の計 6 回の定例会を行いました。「気軽に相談できる雰囲気作り」を目指して会員企業同士の交流を深めて参りました。部会内でのアンケートの実施や経験談の共有など、部会員の皆様のお役に立てていれば幸いです。

講演会では臼井社会貢献委員長から社会貢献委員会での活動の紹介と具体的な取り組みについて講演頂き、我々企業がどのような形でコラボレーションできるかを考える良い機会となりました。後日複数社からのお問い合わせがあったと聞いております。

また、親睦ゴルフコンペを 4 回開催することができました。部会の垣根を超え、毎回 30 名余りの方にご参加頂き、さらに交流を深めることができたと思います。余談ですが幹事の皆様のご協力により第 2 回目からは優勝トロフィーを用意することができました。長くこのトロフィーの授与が続いて行くことを願っています。今後も会員の皆様の意見を聞き、部会活動に反映できるよう努めて参りたいと思います。



▲ 第 4 回運輸部会定例会
(11月19日)



▲ 第 3 回運輸部会親睦ゴルフコンペ
(1月12日)

第一サービス部会

ベトナム経済・景気動向から生活・余暇の過ごし方まで多岐にわたるテーマで合同部会による会員企業の交流促進を実現



部会長
横山 和寿
(横山会計ベトナム)

オンライン部会を除く以下全 5 回のセミナー+懇親会は、平均 60 名の会員企業の皆様に参加頂きました。

①「駐在員向け、ベトナム滞在中に行きたい旅のあれこれ」、②「ベトナム経済の足元の実体と今後の見通し」、③「エースコックベトナムの歴史と事業戦略」、④「ベトナム語講座、挫折しないための手順」、⑤「社長の目標設定からベトナム人社員マネジメントにも活かせるコーチング技術」まで、多岐にわたる会員企業の皆様の興味・関心の高いテーマを、会員間の交流促進を目的として合同部会を中心に実施しました。

そして、2024 年度のテーマであった、部会に参加できない会員企業の皆様の利便性向上を企図して、オンライン配信を併せて行うハイブリッド化を試みました。



▲ エースコックベトナムの金田社長による講演(9月18日)



▲ 北部タンロン工業団地の谷本様によるベトナム語講座(11月26日)

第二サービス部会

部会を超えたネットワーキングと生活・ビジネスに役立つ情報発信を実施



部会長
中村 正樹
(東急ディベロップメント)

当部会は、旅行、医療、不動産、ホテル、飲食、警備などの多業種の企業で構成されており、「他業種も含めたネットワーキング」と「生活・ビジネスに役立つ情報発信」を重視して、部会活動を行いました。2024 年度は 5 回の部会を開催し、そのうち 4 回は合同部会でした。

単独部会では、全参加企業による事業紹介を行うことにより、相互理解と結束力を高めました。その他交流として実施した 4 部合同ゴルフ懇親会(第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険)では、部会の力を合わせることで優勝することができました。セミナーでは、部会員に役立つテーマとして「駐在員向け、ベトナム滞在中に行きたい旅のあれこれ」、「エースコックベトナムの歴史と事業戦略」、「ベトナム語講座、挫折しないための手順」、「ベトナムで気をつけたい髪、肌トラブル」について、ベトナム経験豊かな講師の方々から有意義なお話を頂きました。

2025 年度は、基本的な方針は踏襲しながらも、実現できなかった現場見学会などを実施したいと思います。



▲ 第一サービス部会、金融・保険部会との合同部会(9月18日)



▲ 貿易部会、第一サービス部会との合同部会(11月26日)

IT部会

様々な部会との交流が増えた一年！



部会長
寺田 大典
(ラクスベトナム)

2024年度は、計6回の部会を隔月で実施し、毎回40名を超える会員企業の皆様に参加して頂きました。毎回の部会では、セミナー開催及び情報交換を行い、8月には建設部会との初めての合同部会も実施して部会間の交流の機会を設けることができました。11月には、IT部会で毎年恒例のフットサル大会を実施し、32チームが参加して、会員企業社員の交流が深まりました。今年度も労務環境調査を実施し、12月の報告会では、部会内の職場環境や賃金レベルの変化、近年の労務環境上の懸念点などを活発に議論することができました。

また、ゴルフコンペも7月には建設部会ゴルフコンペへのゲスト参加を行うとともに10月(4部会合同)と2月(IT部会単独)で実施し、会員企業の皆様で部会を越えた交流の場としてご活用頂きました。

増加している会員企業の皆様のご要望に応え、今後も積極的な活動を継続して参ります。



▲ 建設部会との合同部会
(8月1日)



▲ IT部会フットサル大会
(11月23日)

金融・保険部会

会員共通のトピックに関するセミナー開催及び他部会との積極的な交流



部会長
古屋 秀規
(KPMG)

金融・保険部会は、銀行、保険、証券、電子決済、ノンバンク、コンサル、弁護士・会計事務所などの多業種の企業で構成されており、「会員企業に共通するトピックに関するセミナー」及び「他部会との合同部会や懇親ゴルフを通じた積極的な交流」をテーマに活動して参りました。

2024年度は5回の部会(内、2回は他部会との合同部会)及びサッポロビール工場見学会を開催しました。セミナーでは、「ベトナムでのマネジメントに生かすミクロとマクロの問題考察～ベトナム社会の世代変化の潮流と北部出身者と南部出身者の性格・考え方の相違～」、「エースcockベトナムの歴史と事業戦略」、「ベトナムの最新情勢と今後の動向」、「ベトナムで気をつけたい髪、肌トラブル」と、人材、食品、報道、医療業界の方にご講演頂き有意義なセミナーとなりました。

また、4部合同ゴルフ懇親会(第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険)では合計48名の参加があり、当日はホールインワンも飛び出し、大いに盛り上がりました。



▲ 4部合同ゴルフ懇親会
(10月26日)



▲ サッポロビール工場見学会
(2月12日)

ホーチミン市部会

業種を超えた共通の話題と交流を



部会長(～2024年6月)
武村 先
(出光興産ホーチミン鉱業所)

2024年度は計5回の部会・懇親会、工場見学会及び計2回の懇親イベント(ゴルフコンペ)を開催し、多種多様な業種が集まる会員企業の皆様にとって少しでもお役に立てる情報の共有や関心が高いテーマを取り上げることが心掛け、活動を進めて参りました。

11月には、日本で「ベトちゃん・ドクちゃん」として親しまれてきたドクさんをお招きし、「ドクさんの今」をテーマに、平和への熱い想いを語って頂きました。またコロナ禍以降、初の試みとして、エースcockベトナム様のご協力のもと、工場見学会を開催いたしました。

私自身、7月からの就任でしたが、会員企業の皆様のご協力により、無事に部会運営を行うことができました。心より感謝申し上げます。



▲ ドクさん講演会
(11月27日)



▲ エースcockベトナム工場見学会
(12月6日)



部会長(2024年7月～)
吉崎 脩平
(出光興産ホーチミン鉱業所)

タントアン・リンチュン部会

歴史ある加工区の未来へ向け、会員企業、政府、他国商工会と連携強化に努める



部会長（～2025年3月）

鎌田 武

（ベトナムテンパール工業）



部会長（2025年4月～）

廣部 正雄

（古河オートモーティブパーツ）

タントアン・リンチュン部会は、1991年設立のタントアン輸出加工区と1997年設立のリンチュン輸出加工区の企業が集まる合同部会です。現在、55社が参加し、19社が相談役を担っています。定例会は2か月ごとにTTC会議室で開催し、ゴルフコンペや忘年会などの親睦行事も盛況です。

2024年度は税務・通関委員会のゲスト招待や、IT関連や事業の法的枠組みのミニセミナーを開催し、知識を深めました。

また、加工区の今後に関してホーチミン市工業団地・輸出加工区管理委員会（HEPZA）やタントアン輸出加工区建設経営合併会社（TTC）、台湾商工会と意見交換を行い、動向を共有しています。タントアン輸出加工区は2041年に土地の使用期限を迎え、ハイテク団地に生まれ変わる見込みです。皆様との連携を大切に、より良い未来へ向けて活動を続けて参ります。



▲ 政府、他国商工会合同意見交換会
（4月23日）



▲ 第5回定例会
（1月22日）

ビンズン部会

所属企業が166社に!地域とともに発展した1年!



部会長

長戸 隆彦

（ベカメックス東急）

ビンズン経済の盛り上がりとともに、部会の所属企業も増加。2024年度は166社の所属となり、過去最高を記録! 部会活動も活況となり、第2回目となったフットサル大会は約900名のベトナム人スタッフが参加し、日越交流を象徴するイベントに定着しつつあります。行政機関との連携も深め、ビンズン省人民委員会や、税関局との意見交換会などを着実に実施し、参加企業の課題解決に努めました。

昨年度に比べ、滞在許可の問題は減った印象がありますが、代わりに交通渋滞などの深刻さが増しています。ビンズン省も交通インフラ投資を計画しておりますので、部会企業によく周知するお手伝いをしつつ、地域に根差した部会活動を進めて参ります。



▲ ビンズン省税関局との意見交換会
（5月28日）



▲ ビンズン部会フットサル大会
（9月15日）

ドンナイ部会

対面での交流の強化による会員企業同士の情報交換と親睦を促進



部会長

南良 勉

（味の素ベトナム）

2024年度ドンナイ部会は4回の定例会を実施しました。定例会では会員企業からのアンケート結果を基に、「労働許可証」や「サイバーセキュリティ」、「最新の税務動向」などの直近の業務で特に関心の高い話題をピックアップして、特別講演を実施し、会員企業に役立つ情報発信を行いました。

親睦会・忘年会では、会員企業間のコミュニケーションの促進が図れるよう、ベトナムの文化に着目した「旅」、「食」、「歴史」などに関連する特別講演を実施いたしました。

部会活動では、ドンナイ省人民委員会表敬訪問やドンナイ省税関局との意見交換会など、ドンナイ省当局との交流や親睦ゴルフの他、久しぶりに企業訪問を再開し、会員企業同士の親睦の場としてだけでなく、学びの場としても活用いたしました。



▲ 第1回ドンナイ部会
（6月26日）



▲ 第21回ドンナイ部会親睦ゴルフコンペ（8月25日）

ロンアン部会

地域行政との関係強化と企業間交流を深める取り組みを推進



部会長
原田 昌平
(双日協同飼料)

2024 年度も、当部会の特色の一つである地域行政との緊密な関係をさらに深めるため、「交流と関係作りの強化」を活動テーマに掲げました。その一環として、行政との対話の機会を設けるとともに、交流の場として位置付けている夏祭りを、今年度も無事に開催することができました。

また、部会企業間の議論や情報交換の質を高める新たな取り組みとして、現地社員を集め、共通の課題をテーマにした勉強会を実施し、ネットワークを築く場を提供しました。参加者からは、その後も個別に情報交換が続いているとの報告を受けています。

ロンアン部会では、「ロンアン省行政との関係強化」と「部会企業間の情報共有と交流」の二つを軸に、それぞれの目的に沿った活動を推進できたと考えています。



▲ ロンアン省人民委員会とのFDI会合
(5月29日)



▲ 部会夏祭りでのロンアン省幹部との懇親会(8月27日)

バリアブントウ部会

これまで培われた友好的な関係性を維持し、地域との関係性も深める



部会長
竹野 建二
(SMC TOAMI LIABILITY COMPANY)

2024 年度は重要課題として、継続しているラウンドテーブルの諸問題に対して、少しでも解決に向けた取り組みができるように活動してきました。7月31日に1回目のラウンドテーブルを開催し、その後、諸問題のフォローアップとしてプレラウンドテーブル(個別の話合いの場)を開催することができました。

施設見学会では、同じ地区で操業されている POSCO ベトナム様の工場見学会を開催しました。かねてからの韓国商工会様との交友で実現できたものと思います。

また恒例になっているロンアン部会との懇親ゴルフコンペも行い、他部会との友好関係を深めることができました、さらにバリアブントウ省中小企業協会(VINASME)とJCCHは、「相互協力協定」覚書(MOU)を締結することができました。地域の発展に向けた、省政府及び地域企業様との関係強化につながったと考えています。



▲ 第一回BRVT中小企業協会との対話会
(8月2日)



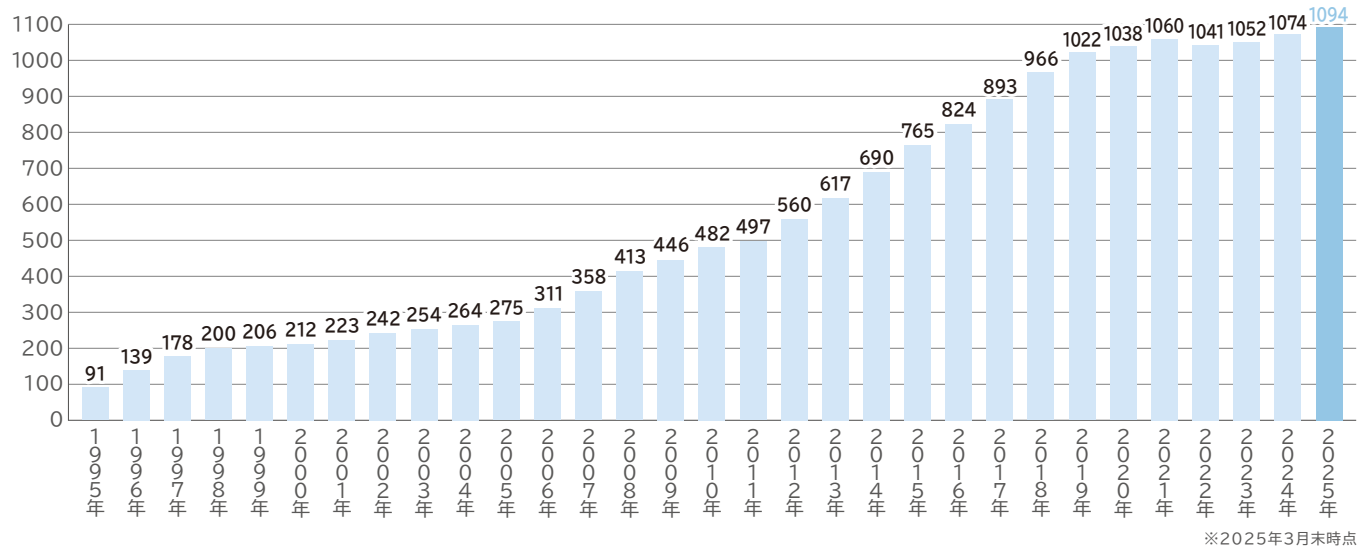
▲ POSCO ベトナム工場見学会
(11月15日)

データでみるJCCH活動

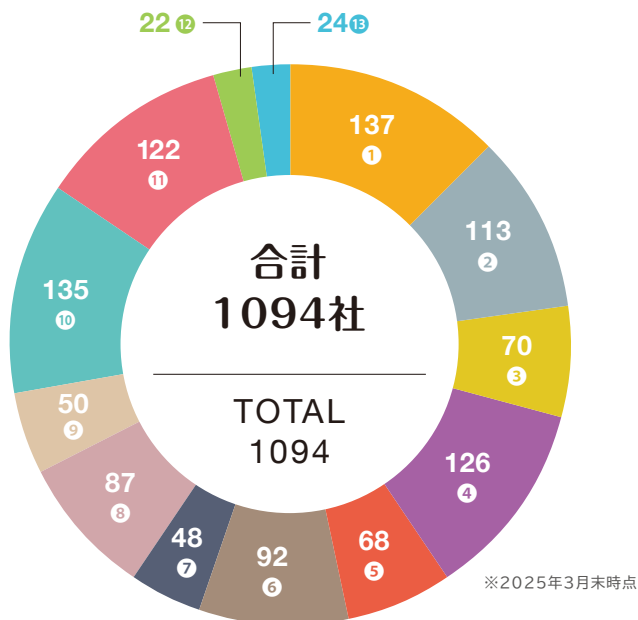
現在、JCCHの会員数は1094社（2025年3月末現在）で、これはベトナムにある3つの日本商工会議所の中で最も多い会員数となっています。3つの商工会議所の合計会員数は2110社であり、上海日本商工クラブの2173社、バンコク日本人商工会議所の1660社と並ぶ大きな規模を誇ります。

また、ベトナムにおける日本商工会議所の会員数は年々増加しており、今後もJCCHの存在感はさらに高まると予想されます。会員企業の皆様のご協力をいただきながら、引き続き日本とベトナムの双方に貢献していけるよう努めて参ります。

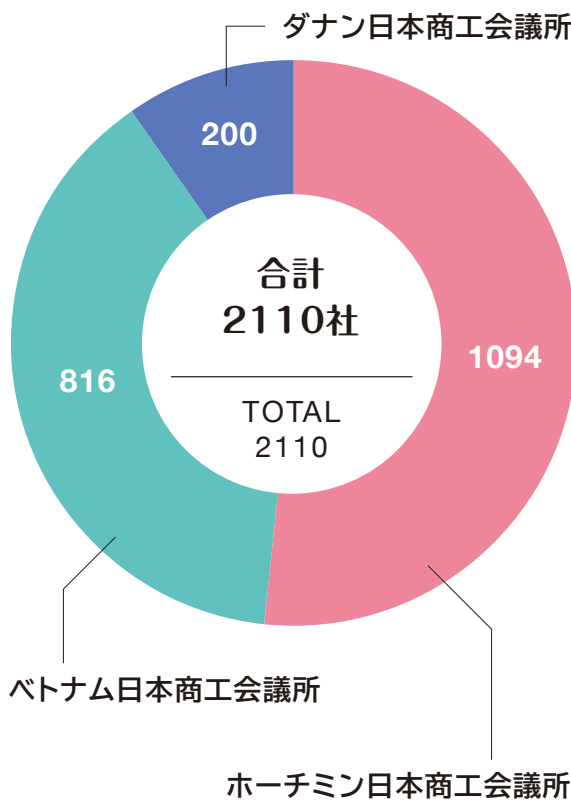
会員企業数推移



部会構成

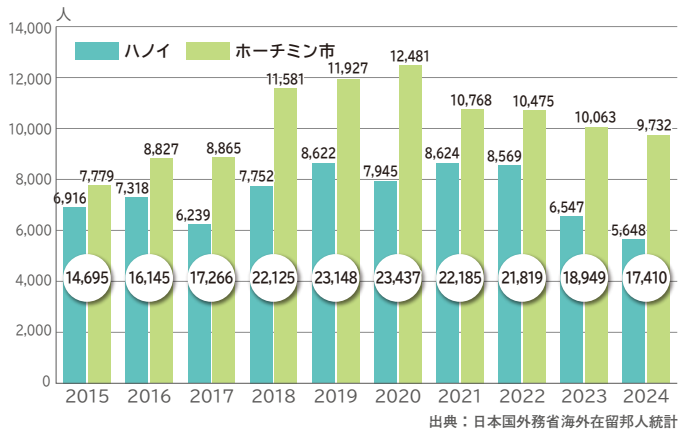


在ベトナム日本商工会議所の会員数

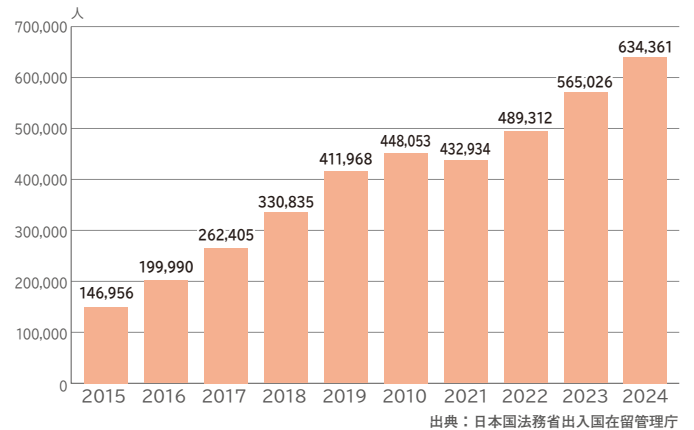


- | | |
|----------------------|-------------------------|
| ① 貿易部会 12.5% | ⑧ ホーチミン市部会 8.0% |
| ② 建設部会 10.3% | ⑨ タントアン・リンチュン部会 .. 4.6% |
| ③ 運輸部会 6.4% | ⑩ ビンズン部会 12.3% |
| ④ 第一サービス部会... 11.5% | ⑪ ドンナイ部会 11.2% |
| ⑤ 第二サービス部会 ... 6.2% | ⑫ ロンアン部会 2.0% |
| ⑥ IT部会 8.4% | ⑬ バリアブントウ部会 2.2% |
| ⑦ 金融・保険部会 4.4% | |

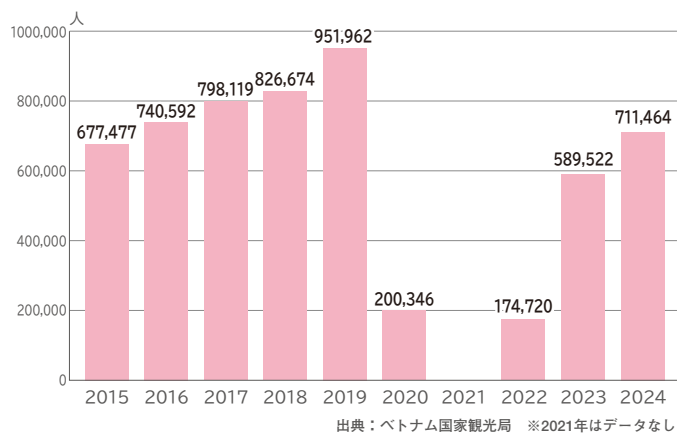
ベトナム在留邦人数の推移



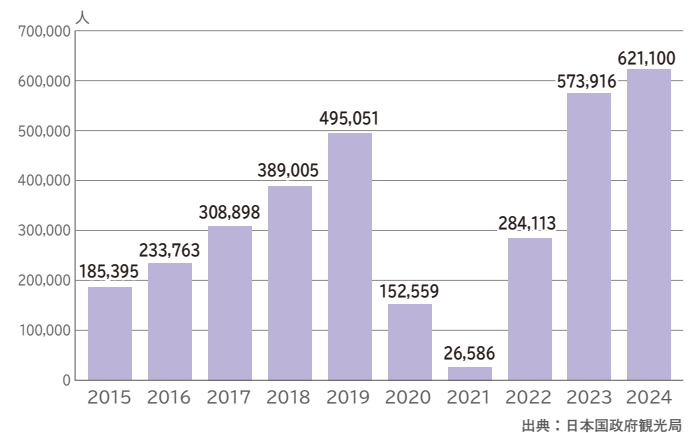
日本在留ベトナム人数の推移



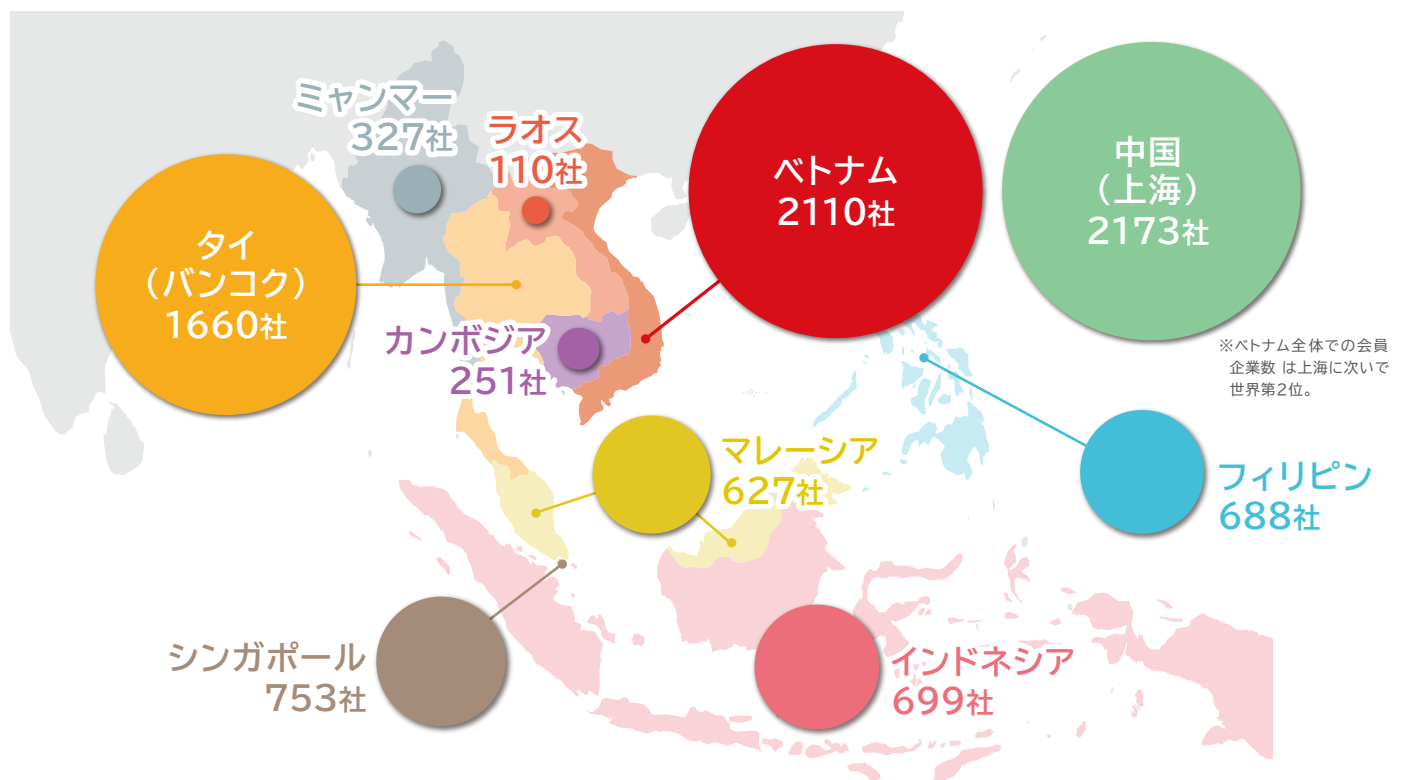
訪越日本人数の推移



訪日ベトナム人数の推移



近隣諸国にある日本商工会議所の会員数



※2025年3月末時点
 ※日本商工会議所に相当する組織は国によって名称が異なります。各組織のウェブサイトなどで公表されている最新の数値を参照しました。

JCCH ニュースフラッシュ

今年度もJCCHの活動を各種外部メディアで掲載いただきました。その一部をご紹介します。

1 時事通信

新会頭に三菱UFJ銀・埜崎氏＝ホーチミン日本商工会議所

【ハノイ時事】ベトナム南部の日系企業で組織するホーチミン日本商工会議所（JCCH）25日、定例会を開き、新会頭に三菱UFJ銀行（現三菱UFJ銀行）の埜崎孝雄氏を選出した。埜崎氏は、「これまで3年間にわたり、強力なリーダーシップでJCCHを率いてきた水嶋（恒二）会頭からバトンを引き継ぎ、身の引き締まる思いがする。力の限り会議所運営に努める」と語った。

埜崎氏は1996年東京三菱銀行（現三菱UFJ銀行）に入行。日本国内の拠点に加え、海外では2011年からシンガポール、16年からはニューデリーで勤務した経歴があり、23年5月にホーチミン支店長に就任した。商工会議所は24年度の活動としては、ホーチミン市をはじめとした周辺各省・市の人民委員会幹部などとの政策対話、他の外国商工会議所と連携した政策提言などを建てる。企業交流イベント、社会貢献活動などにも取り組むとしている。

- ▲ 2024年4月26日(金)付
2024年度埜崎会頭の就任を報道いただきました。

2 NNAベトナム



- ▲ 2024年9月26日(木)付
JCCHが出席した「ホーチミン市祖国戦線の台風YAGI災害義援金贈呈セレモニー」を報道いただきました。

3 週刊Vetter



- ▲ 2024年10月9日(水)付
JCCH 社会貢献委員会と会員企業が協同で実施した子ども支援活動の様子を掲載いただきました。



- ▲ 2025年1月15日(水)付
「JCCH 懇親ゴルフ大会 2024」の様子を掲載いただきました。

4 月刊ACCESS



- ◀ 2024年8月号
台湾商工会との交流イベントを掲載いただきました。



- ◀ 2025年1月号
埜崎会頭のインタビュー記事を掲載いただきました。



- ◀ 2025年4月号
「日越友好平和ぼんど大会」を掲載いただきました。

5 月刊Vietnam Sketch



- ◀ 2024年8月号
「ホーチミン市人民委員会への表敬訪問」と「ゼロから分かる脱炭素入門・現地法人に求められる脱炭素アクションプラン」セミナーを掲載いただきました。



- ◀ 2025年1月号
「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」と「JCCH&フランス商工会(CCIFV)交流イベント」を掲載いただきました。

6 ホーチミンテレビ (HTV)



▲ 2024 年 9 月 24 日(火)付
2024 年 9 月 24 日(火) JCCH が出席した「ホーチミン市祖国戦線の台風 YAGI 災害義援金贈呈セレモニー」を報道いただきました。

7 ベトナム共産党テレビ (人民テレビ) (NHAN DAN TV)



▲ 2024 年 12 月 9 日(月)付
2024 年 12 月 9 日(月)「ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル」を報道いただきました。

8 ドンナイテレビ (DNRTV)



▲ 2024 年 11 月 15 日(金)付
2024 年 11 月 14 日(木)「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」を報道いただきました。

9 ロンアンテレビ (LATV)



▲ 2025 年 1 月 23 日(木)付
2025 年 1 月 23 日(木)「ロンアン省人民委員会へのテトご挨拶」を報道いただきました。

10 ベトナム有力新聞トゥオイチャー (Tuoi Tre)



◀ 2025 年 1 月 10 日(金)付
2025 年 1 月 10 日(金) JCCH 社会貢献委員会が支援した「中高生スピーチコンテスト」を掲載いただきました。

11 ベトナム有力オンラインメディア VnExpress



◀ 2024 年 12 月 9 日(月)付
2024 年 12 月 9 日(月)「ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル」での、タンソンニャット国際空港への手続き時間の改善要望について報道いただきました。

事務局主要活動実績表

2024年4月

5日(金)	サイゴンセンター2024年ジャパンフェスティバル オープニングセレモニー	同施設
8日(月)	第1回ホーチミン国際映画祭	ホーチミン歌劇場(オペラハウス)
8~9日(月~火)	部会運営ガイダンス	WEB
10日(水)	日本人学校入学式	同校
	小野総領事と会頭との夕食懇談会	総領事公邸
12日(金)	みちのりホールディングス開業セレモニー	サイゴンバスステーション
16日(火)	山田大使への離任挨拶	在ホーチミン日本国総領事館
17日(水)	日越共同イニシアティブ担当委員会	ハノイ + WEB
22日(月)	2023・2024年度執行役員会	JCCH
23日(火)	山田大使離任レセプション	ハノイ
25日(木)	第31回総会、第1回理事会	レバリーサイゴン
26日(金)	JCCI武藤会頭ご来訪	JCCH

2024年5月

8日(水)	森在ダナン日本国総領事ご来訪	JCCH
9日(木)	日本人学校増築入札説明会	同校
	在越日欧米韓商工会議所会合	韓国商工会(Kocham)
10日(金)	企業交流委員会	JCCH
13日(月)	執行役員会	JCCH
	社会貢献委員会	サッポロベトナム
14日(火)	ホーチミン市建設・建材協会(SACA)ご来訪	JCCH
	ホーチミン市人民委員会表敬訪問	同庁舎
15日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	ビンズン省税関局との面談	同庁舎
	部会長会	ホテルニッコーサイゴン
16日(木)	理事会	ホテルニッコーサイゴン
	理事懇親会	ホテルニッコーサイゴン
17日(金)	税務・通関委員会主催 「ゼロから分かる脱炭素入門 現地法人に求められる脱炭素アクションプラン」セミナー	パレスホテル
20日(月)	山梨県経営者協会ご一行ヘレクチャー	パラゴンサイゴンホテル
	ビンズン省税関局との打合せ	同庁舎
	第一サービス、第二サービス部会合同部会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
21日(火)	運輸部会	えびす
	伊藤大使表敬訪問	在ベトナム日本大使館
	埜崎会頭とJCCI武藤会頭との懇談会	ハノイ
22日(水)	ホーチミン市部会	WEB + ル ジャルダン
	台湾商工会との打合せ	WEB
	貿易部会	住友商事 + 桜々
	建設部会	サイゴンホテル
23日(木)	IT部会	サイゴンホテル
	ビンズン部会	ソンベゴルリゾート
	タントアン・リンチュン部会	TTC
27日(月)	VJCC経営塾第20期開講式	VJCC
28日(火)	ビンズン省税関局との意見交換会	同庁舎
29日(水)	ロンアン省人民委員会主催「FDI企業との会合」	同庁舎
30日(木)	Sunwah Innovation Center訪問	同センター
	JICAカントー大学プロジェクト来訪	JCCH

2024年6月

3日(月)	生活環境委員会	JCCH
	スポーツ・文化委員会	酒場サスケ
4日(火)	バリアブントウ省人民委員会表敬訪問	同庁舎
	広報委員会	JCCH
6日(木)	労務委員会	JCCH
	ドンナイ省人民委員会表敬訪問	同庁舎
7日(金)	ロンアン部会	JCCH
	バリアブントウ部会	フーミー3工業団地
9日(日)	ビンズン部会ゴルフコンペ	ソンベゴルリゾート
11日(火)	ロンアン省人民委員会表敬訪問	同庁舎

12日(水)	ビンズン省人民委員会表敬訪問	同庁舎
13日(木)	台湾商工会との打合せ 関西経済連合会来訪	WEB JCCH
16日(日)	日本人学校ホーチミンミュージックフェスティバル	同校
17日(月)	執行役員会	JCCH
18日(火)	社会貢献委員会 ホーチミン工科大学との打合せ	サッポロベトナム JCCH
19日(水)	新規赴任者交流会 金融・保険部会 厚労省SESPP事業事務局来訪 日越共同イニシアティブ委員会	ザリバー オリエンタル オーシャンパレス JCCH JCCI + WEB
20日(木)	理事会	パレスホテル
22日(土)	VJCC経営塾第18期閉講式	VJCC
24日(月)	公安省との夕食会	春夏冬
26日(水)	ドンナイ省ビジネスマッチングキックオフ会議 ドンナイ部会	WEB サイゴンホテル
27日(木)	在越台湾商工会会員企業とJCCH会員企業との交流イベント 関東経済産業局との打合せ	ウィンザープラザホテル JCCH
28日(金)	ラウンドテーブルキックオフ会合	ITPC

2024年7月

1日(月)	岡崎商工会議所YEGへのレクチャー	JCCH
2日(火)	広報委員会 事業環境委員会	JCCH 長島・大野・常松法律事務所 + WEB
3日(水)	組織・規約委員会 インド日本商工会との打合せ	JCCH WEB
4日(木)	労務委員会 デジタル庁との打合せ	JCCH JCCH
5日(金)	Masteriseとの懇談会	グランドマリーナ サイゴン
7日(日)	運輸部会ゴルフコンペ	ソンベゴルリゾート
8日(月)	伊藤大使との食事会	マンダリン
10日(水)	日本人学校運営委員会 川崎港戦略港湾推進協議会来訪	JCCH JCCH
12日(金)	在越フランス商工会Bastille Dayイベント	マイ ハウス サイゴン ホテル
16日(火)	ASEAN日本人商工会議所連合会(FJCCIA)事務局長会議 公明党山口代表との夕食会	ジャカルタ ベトナムハウス
17日(水)	第16回ASEAN日本人商工会議所連合会(FJCCIA)総会、ASEAN事務総長との対話会合 オペラ「アニオー・姫」特別音楽朗読劇	ジャカルタ ホーチミン音楽院
18日(木)	第二サーブ部会	ホテルニッコーサイゴン
19日(金)	Grand Marina Towerキックオフイベント NTTドコモ合併会社設立の調印式	グランドマリーナ サイゴンギャラリー パークハイアットサイゴン
22日(月)	執行役員会 社会貢献委員会	JCCH サッポロベトナム
23日(火)	日本人学校増築キックオフ会議 千葉興業銀行・大垣共立銀行へのレクチャー	JCCH 相鉄グランドフレッサ
24日(水)	タントアン・リンチュン部会 ホーチミン市部会	TTC WEB + チャオベラ
25日(木)	部会長会 理事会 神戸商工会議所川崎会頭ご来訪 チョン書記長国葬参列	JCCH パレスホテル JCCH 統一会堂
27日(土)	建設・IT部会ゴルフコンペ HUTECH大学ジョブフェア	ドンナイゴルフリゾート 同校
28日(日)	ホーチミン市部会ゴルフコンペ 福岡市港湾空港局との打合せ	ソンベゴルリゾート WEB
29日(月)	日本武道館ご来訪 ホーチミン市税関局輸出入税室室長との打合せ	JCCH 同庁舎
30日(火)	運輸部会 日本政策金融公庫ご来訪 ドンナイ省「ものづくり人材交流会 in Dong Nai」	えびす JCCH ドンナイ カレッジ オブ ハイテクノロジー
31日(水)	事業環境委員会 バリアブントウ省とのラウンドテーブル	JCCH + WEB 同庁舎

2024年8月

1日(木)	IT、建設部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン
	貿易、第一サービス部会合同部会	サイゴンプリンスホテル
	ビンズン省税関局との会議	同庁舎
3日(土)	アジア域内日本人会事務局長会議	台湾日本人会
5日(月)	ホーチミン市工科大学紹介セミナー	同校
7日(水)	海外産業人材育成協会(AOTS)ご来訪	JCCH
12日(月)	生活環境委員会	JCCH
	カインホア省計画投資局との打合せ	WEB
14日(水)	在越日欧米韓商工会議所会合	韓国商工会(Kocham)
17日(土)	社会貢献委員会サイゴン動植物園清掃活動	サイゴン動植物園
21日(水)	シンガポール独立記念59周年レセプション	パークハイアットサイゴン
22日(木)	社会貢献委員会レホンフォン高校日本語交流会	同校
23日(金)	バリアブントウ部会	CJビル + ユキレストラン
25日(日)	ドンナイ部会ゴルフコンパ	ベトナムゴルフカントリークラブ
26日(月)	スポーツ・文化委員会	酒場サスケ
	企業交流委員会	バリオ
27日(火)	ロンアン部会、サッポロ夏祭り	サッポロベトナム
28日(水)	ITPCラウンドテーブル関係者との懇親会	えびす
	金融・保険部会	桜々
	フランス商工会との打合せ	RBAオフィス
29日(木)	ビンズン部会	VSIP1会議室

2024年9月

4日(水)	広報委員会	JCCH
5日(木)	労務委員会	JCCH + WEB
	社会貢献委員会子ども支援第1弾	ホーチミン市ストリートチルドレン友の会
6日(金)	富士フィルムビジネスイノベーション新オフィスオープニングイベント	同社
	国際協力銀行(JBIC)ご来訪	JCCH
7日(土)	DYM メディカルセンターベトナム歯科内覧会	同院
8日(日)	社会貢献委員会日本人学校清掃活動	同校
10日(火)	エール学園販路開拓セミナー	WEB
11日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	組織・規約委員会	JCCH
12日(木)	小野総領事と日本人学校関係者との夕食会	総領事公邸
13日(金)	建設部会工場見学	ビナキョウエイスチール
14日(土)	社会貢献委員会子ども支援第2弾	ビレッジ・チャンス
15日(日)	ビンズン部会フットサル大会	ソラガーデンズリンクスフットサルコート
16日(月)	執行役員会	JCCH
	ホーチミン市税関局との会食	えびす
17日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
18日(水)	第一サービス、第二サービス、金融・保険3部会合同部会	ニューワールドサイゴンホテル
	ベトナムビジネスフォーラム(VBF)・ホーチミン市人民委員会との会合	GEMセンター
	日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
19日(木)	理事会	パレスホテル
	部会長会	JCCH
20日(金)	三菱UFJ銀行お客様感謝会	ホーチミン歌劇場(オペラハウス)
	FICT VIETNAM開所式	同社
22日(日)	台湾商工会総会	レバリーサイゴン
23日(月)	香港工業総会Young Executive Council(YEC)訪越団との懇談会	スタンダードチャータード オフィス
24日(火)	運輸部会	えびす
	双日ベトナム20周年パーティー	ホテルニッコーサイゴン
	経済産業省との意見交換	JCCH
	ホーチミン市祖国戦線義援金贈呈セレモニー	同オフィス
25日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTC
	ホーチミン市部会	JCCH + バンディードサイゴン
26日(木)	建設部会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
	IT部会	ル カフェ デ スタジエール サイゴン
	貿易部会	WEB + 桜々
	ビンズン省マスタープラン発表会	同省
27日(金)	ドンナイ部会	ベトナム味の素 + ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
28日(土)	ホーチミン市工科大学ジョブフェア・シンポジウム	同校
29日(日)	日本人学校運動会	同校

2024年10月

	広報委員会	JCCH
1日(火)	東京都中小企業振興公社ご来訪	JCCH
	ホーチミン市友好組織連合Vietnam Entrepreneur's Day記念イベント	フレンドシップタワー
2日(水)	第1回労務セミナー	WEB
5日(土)	FJCCIA事務局長会議	ヤンゴン
6日(日)	運輸部会ゴルフコンペ	ソンベゴルフリゾート
7日(月)	ホーチミン市税関局との対話集会	ニューワールドサイゴンホテル
8日(火)	両備ベトナムディストリビューションサービス社倉庫竣工式	同社
	事業環境委員会	JCCH
9日(水)	中部経済同友会との夕食懇談会	オーパスサイゴン
	在越日欧米韓商工会議所会合	欧州商工会(Euro Cham)
10~11日(木~金)	ベトナム国内視察団	カインホア省
12日(土)	JCCH運動会予選会	日本人学校
13日(日)	JCCH運動会	日本人学校
	執行役員会	JCCH
14日(月)	宇和島商工会議所建設部会レクチャー	JCCH
	日本武道館ご来訪	JCCH
15日(火)	プレラウンドテーブル法務・労務	ITPC
	第1回税制セミナー	WEB
16日(水)	プレラウンドテーブル税務、通関	ITPC
	VJCC経営塾とのビジネスマッチング	ビクトリーサイゴンホテル
17日(木)	理事会	パレスホテル
	新入会企業と執行役員・理事との懇親会	パレスホテル
18日(金)	プレラウンドテーブル生活環境	ITPC
	AGC ケミカルズ社10周年記念セレモニー	ランドマーク81
19日(土)	社会貢献委員会ドンズー日本語学校交流会	同校
22日(火)	社会貢献委員会	サッポロベトナム
	MEET KANSAI 2024 in Ho Chi Minh	カペラ パーク ビュー
23日(水)	川崎市議会議員海外視察団ご来訪	JCCH
	西村あさひ法律事務所レセプション	パークハイアットサイゴン
	カマウ省投資促進センター長ご来訪	JCCH
24日(木)	ビンズン部会・工場見学	ヤクルトベトナム
25日(金)	ロンアン部会	JCCH + 膳
26日(土)	4部会合同ゴルフ懇親会(第一サービス、第二サービス、IT、金融・保険)	タンソンニャットゴルフ場
	ロンアン部会とバリアブントウ部会の合同懇親ゴルフ	ベトナムゴルフカントリークラブ
27日(日)	貿易部会ゴルフコンペ	ベトナムゴルフカントリークラブ
30日(水)	ふらっとJCCH	Pizza 4P's
31日(木)	タントアン・リンチュン部会と台湾商工会支局との面談	ベトナムデンパール工業

2024年11月

	ロジテムベトナム社創立30周年記念セレモニー	ホテルニッコーサイゴン
1日(金)	堺市環境局ご来訪	JCCH
	国際移住機関(IOM)ご来訪	JCCH
3日(日)	ホーチミン市部会ゴルフコンペ	ソンベゴルリゾート
4日(月)	スポーツ・文化委員会	酒場サスケ
5日(火)	広報委員会	JCCH
6日(水)	組織・規約委員会	JCCH
	建設部会ボウリング大会	メガボウルベトナム
7日(木)	日本武道館ウェルカムパーティー	総領事公邸
	長島・大野・常松法律事務所 ホーチミン・オフィス開設10周年記念レセプション	パークハイアットサイゴン
8日(金)	Kyokuyo Vina Foods社ロンアン工場竣工式	同社
	日本武道館演武披露	日本人学校
10日(日)	日本武道館演武会	グエン デュ体育館
11日(月)	事業環境委員会	JCCH + WEB
	全国企業主導型保育事業連合会との夕食会	ホテルニッコーサイゴン
12日(火)	近畿経済産業局ご来訪	JCCH
	バリアブントウ省ラウンドテーブルフォローアップ会議	同省
13日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	三重県商工会議所連合会ミッション団へのレクチャー	HDバンク
14日(木)	ドンナイ省で開催「日系企業とベトナム企業とのビジネスマッチング会」	ザ ミラ セントラル パーク ホテル
	日本政策金融公庫との夕食会	春夏冬
15日(金)	バリアブントウ部会・施設見学	POSCOベトナム + フーミー3特別工業団地
	VJCC日本式経営研修「経営塾」15周年記念イベント	リバーサイドパレス
16日(土)	日本航空日本ーホーチミン線就航30周年記念式典	ホテルニッコーサイゴン
17日(日)	G-COM社病院見学会・レセプションパーティー	ホテルニッコーサイゴン
18日(月)	執行役員会	JCCH
	運輸部会	ホテルニッコーサイゴン
19日(火)	第2回税制セミナー	WEB
	在越日欧米韓商工会議所会頭会合	三菱UFJ銀行
	福岡市港湾空港局ご来訪	JCCH
20日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTC
	金融・保険部会	KPMG + BELGO Ton That Thiep
	部会長会	JCCH
21日(木)	理事会	パレスホテル
	在越フランス商工会との合同イベント	フランス総領事公邸
22日(金)	ビンズン省人民委員会との対話集会	同省
23日(土)	IT部会フットサル大会	チャオルアフットサルスタジアム
26日(火)	貿易、第一サービス、第二サービス3部会合同部会	サイゴンプリンスホテル + WEB
27日(水)	ホーチミン市部会	相鉄グランドフレッサ + レストラン酒らく
	インド日本商工会との意見交換	同会
27~12月1日(水~日)	事業環境委員会海外視察団	インド
28日(木)	IT部会	サイゴンホテル
	建設部会	ホテルニッコーサイゴン
30日(土)	建設部会ゴルフコンペ	ソンベゴルリゾート

2024年12月

2日(月)	タイ王国ナショナルデーレセプション IT部会賞金調査・労働環境アンケート公表会	マイハウス サイゴン ホテル えびす商店
3日(火)	広報委員会 ホーチミン市商工局との打合せ	JCCH JCCH
5日(木)	労務委員会 国際移住機関(IOM)主催ビジネスラウンドテーブル	JCCH + WEB WEB
6日(金)	ホーチミン市部会・工場見学 日系企業のための食品関連ビジネス戦略セミナー 全国中小貿易業連盟ミッション団へのレクチャー	エースコックベトナム 天空レストラン JCCH
9日(月)	ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブル	レックスホテル
10日(火)	生活情報セミナー ロンアン部会	ホテルニッコーサイゴン JCCH + もつ鍋鈴乃屋
11日(水)	JCCI日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
12日(木)	ベカメックス東急社The GLORY竣工式典 第6回ベトナム日本国際ユースカップU-13大会	ピンズン新都市 ピンズン省
13日(金)	ピンズン部会・忘年会	フオンナムリゾート
15日(日)	JCCH懇親ゴルフ大会 社会貢献委員会子ども支援第3弾	タンソンニャットゴルフ場 トゥー・ドゥック・ユース・ビレッジ
16日(月)	執行役員会 日越共同イニシアティブ中間評価会合	JCCH 計画投資省庁舎
17日(火)	第3回税制セミナー 社会貢献委員会	WEB サッポロベトナム
18日(水)	タントアン・リンチュン部会・忘年会	サイゴンサウスマリーナクラブ
19日(木)	理事会	パレスホテル
20日(金)	山口県産業労働部長ご来訪 鳥取県観光交流局長との夕食会	JCCH Pizza 4P's
22日(日)	社会貢献委員会バリアブントウ海岸清掃活動 ホーチミン市都市鉄道(メトロ)1号線開業式 建設部会BBQ大会	バリアブントウ省 ベントイン駅 OM Nuong
23日(月)	ドンナイ部会・忘年会	ニューワールドサイゴンホテル
27日(金)	ホーチミン市電気電子機械協会(HAMEE)役員による表敬訪問	JCCH

2025年1月

8日(水)	組織・規約委員会	JCCH
9日(木)	加藤財務大臣との昼食会	総領事公邸
10日(金)	社会貢献委員会日本語スピーチコンテスト	レホンフォン高校
12日(日)	運輸部会ゴルフコンペ	ソンベゴルフリゾート
13日(月)	ホーチミン市人民委員会主催新年会	同庁舎
14日(火)	JCCH新年会	ホテルニッコーサイゴン
15日(水)	日本人学校運営委員会 JCCI日越共同イニシアティブ委員会	JCCH JCCI + WEB
16日(木)	IT部会 2024年度ホーチミン市人民委員会とのラウンドテーブルフィードバックセミナー 社会貢献委員会子ども支援第4弾	フーンライ WEB ホーチミン市ストリートチルドレン友の会
17日(金)	Miracool Vietnam社開所式	同社
20日(月)	執行役員会 第4回税制セミナー	JCCH WEB
21日(火)	テト直前緊急セミナー「イミグレで出国を差止めされないために」 第一サービス部会 社会貢献委員会	WEB WEB サッポロベトナム
22日(水)	タントアン・リンチュン部会 運輸部会 貿易、建設部会合同部会	TTC えびす ホテルニッコーサイゴン
23日(木)	部会長会 理事会 ロンアン省人民委員会へのテト挨拶 バリアブントウ省人民委員会へのテト挨拶	JCCH パレスホテル 同庁舎 同庁舎

2025年2月

5日(水)	バリアブントウ省幹部によるテトご挨拶訪問	JCCH
6日(木)	近畿経済産業局との懇談会	JCCH
7日(金)	ロンアン省幹部と外交団体との会合	同庁舎
	ニョンチャック3工業団地・土地利用率値上げについての説明会	WEB
10日(月)	関西ニュービジネス協議会ミッション団へのレクチャー	JCCH
	ホーチミン市人民委員会へのテト挨拶	同庁舎
11日(火)	広報委員会	JCCH
	在越日欧米韓商工会議所実務者会議	ニューワールドサイゴンホテル
12日(水)	金融・保険部会工場見学会	サッポロベトナム
13日(木)	関東経済産業局ご来訪	JCCH
14~15日(金~土)	建設部会とJCCI建設部会との合同現場見学会及びゴルフ懇親会	ホーチヤム
15日(土)	社会貢献委員会タオダン公園清掃活動	タオダン公園
	IT部会懇親ゴルフコンペ	ハーモニーゴルフ場
16日(日)	第9回定期演奏会『Acecook Happiness Concert 2025』	ホーチミン歌劇場(オペラハウス)
17日(月)	執行役員会	JCCH
18日(火)	第5回税制セミナー	WEB
19日(水)	労務委員会	JCCH + WEB
	ホーチミン建設業・建材業協会(SACA)との打合せ	JCCH
	JCCI日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
20日(木)	理事会	パレスホテル
	新入会企業と執行役員・理事との懇親会	パレスホテル
23日(日)	ホーチミン市国家大学設立30周年式典	同校
	ドンナイ部会ゴルフコンペ	ベトナムゴルフカントリークラブ
26日(水)	日本人学校運営委員会	JCCH
	大阪商工会議所情報・通信部会との夕食会	マンダリン
	ベトナム新規赴任者向け交流会	ホテルニッコーサイゴン
	第2回労働法セミナー	WEB
27日(木)	在ホーチミン日本国総領事館主催天皇誕生日レセプション	ホテルニッコーサイゴン
	近畿経済産業局ご来訪	JCCH
28日(金)	ホーチミン市越日友好協会主催天皇誕生日レセプション	ロイヤルホテル
	在越香港商工会Chinese New Year及びHKETO設立30周年レセプション	ニューワールドサイゴンホテル

2025年3月

1日(土)	FJCCIA 事務局長会議	JCCH
	建設部会ゴルフコンペ	ドンナイゴルフコース
	チン首相と日系企業との対話会合	ハノイ首相府
4日(火)	東京中小企業投資育成ミッション団との夕食会	サイゴンプリンスホテル
	在越台湾商工会との打合せ	JCCH
5日(水)	ふらっとJCCH	Pizza 4P's
	生活環境委員会	JCCH
	ベカメックス東急社Midori Park the Nest起工式	ビンズン新都市
6日(木)	スポーツ・文化委員会	ホテルニッコーサイゴン
	日本人学校増築校舎起工式	同校
	九州経済産業局ミッション団へのレクチャー	JETROホーチミン事務所
	九州経済産業局ミッション団との夕食懇談会	ニューワールドサイゴンホテル
7日(金)	ジャパンベトナムフェスティバル(JVF)レセプションパーティー	レックスホテル
	ロンアン部会	JCCH + 居酒屋まるこ
8～9日(土～日)	ジャパンベトナムフェスティバル(JVF)	9月23日公園
8日(土)	日越友好ぼんおどり大会、JCCH Tomodachi Projectステージ	9月23日公園
	宮路外務副大臣との夕食懇談会	ホテルニッコーサイゴン
9日(日)	JICA 宮崎副理事長との夕食懇談会	マンダリン
11日(火)	広報委員会	JCCH
	日本人学校卒業式	同校
	社会貢献委員会人文社会科学大学日本語会話クラブ交流会	同校
12日(水)	事業環境委員会特別セミナー「ベトナムにおけるフロン対策について」	WEB
	JCCI日越共同イニシアティブ委員会	JCCI + WEB
13日(木)	貿易、第一サービス、IT3部会合同部会	ルネッサンスリバーサイドホテルサイゴン
	建設部会	ホテルニッコーサイゴン
14日(金)	第二サービス、金融・保険、ホーチミン市3部会合同部会	ホテルニッコーサイゴン
	ビンズン部会	ベカメックスホテル
	民間外交推進協会へのレクチャー	JCCH
	バリアブントウ部会	フーミー3 特別工業団地
15日(土)	YAZAKI EDS VIETNAM社 創立30周年記念祝賀会	同社
16日(日)	伊藤大使主催公邸茶会	大使公邸
17日(月)	執行役員会	JCCH
18日(火)	社会貢献委員会	サップロベトナム
19日(水)	税務・通関委員会	炬端寿司きよ田
20日(木)	部会長会	ニューワールドホテルサイゴン
	理事会	ニューワールドホテルサイゴン
	2024年度、2025年度理事・監事懇親会	ニューワールドホテルサイゴン
21日(金)	ドンナイ部会	ホテルニッコーサイゴン
23日(日)	貿易部会ゴルフコンペ	ベトナムゴルフカントリークラブ
25日(火)	組織・規約委員会	JCCH
	運輸部会	睦庵
26日(水)	タントアン・リンチュン部会	TTC
30日(日)	運輸部会ゴルフコンペ	ウェストレイクス ゴルフ & ヴィラズ

役員・委員一覧（2025年3月時点）

会 頭	埜崎 孝雄	（三菱UFJ銀行）
副 会 頭	松本 暢之	（JETRO ホーチミン事務所）
	古澤 康之（～2025年2月）	（イオンベトナム）
	中川 幹久	（長島・大野・常松法律事務所）
	小野瀬 貴久	（EYベトナム）
	白木 友宏	（丸紅ベトナム）
監 事	畠山 央	（三井住友銀行）
事 務 局 長	上田 真也	（大阪商工会議所）

委員会名	委員長	副委員長	委員
事業環境委員会	中川 幹久 （長島・大野・常松法律事務所）	小野瀬 貴久 （EYベトナム）	古澤 康之（～2025年2月）（イオンベトナム） 新田 和男（オリンパスベトナム） 小川 恵理（在ホーチミン日本国総領事館） 笠島 信幸（JETROホーチミン事務所） 田邊 浩一朗（ベトナム住友商事） 波多野 直也（～2024年8月）（三菱UFJ銀行） 佐藤 啓（2024年9月～）（三菱UFJ銀行） 増田 華子（大和ハウスベトナム） 東 伸明（2024年7月～）（野村不動産ベトナム） 小柏 卓也（長島・大野・常松法律事務所）
労務委員会	新田 和男 （オリンパスベトナム）	中川 幹久 （長島・大野・常松法律事務所）	小野瀬 貴久（EYベトナム） 大矢 和秀（西村あさひ法律事務所） 三木 康史（アンダーソン・毛利・友常法律事務所） 川崎 美奈子（JETROホーチミン事務所） 今井 裕（サイゴンプレジジョン） 浦田 賢（三菱電機ベトナム） 村上 明（シャープマニュファクチャリングベトナム） 原田 昌平（双日協同飼料） 福宿 伸一郎（コーケンベトナム） 児玉 圭太（VIETNAM RARE ELEMENTS CHEMICAL） 藤井 博之（オリンパスベトナム）
税務・通関委員会	小野瀬 貴久 （EYベトナム）	渡邊 洋平 （ドラゴンロジスティクス）	水野 和義（郵船ロジスティクスベトナム ホーチミン支店） 廣田 弘毅（山九ベトナム） 星谷 亮一（NXベトナム） 新田 和葉（JETRO ホーチミン事務所） 高田 真（エスコンサルティングベトナム） 鶴田 明久（AGS ACCOUNTING） 古屋 秀規（KPMG） 高野 宏太（EYベトナム） 仁科 仁（GRANT THORNTON VIETNAM） 塚本 裕之（PwCベトナム）
生活環境委員会	古澤 康之 （～2025年2月） （イオンベトナム） 砂金 智之 （2025年3月～） （双日ベトナム）	砂金 智之 （～2025年2月） （双日ベトナム） 村田 雄一 （ホテルニッコーサイゴン）	佐藤 浩一（在ホーチミン日本国総領事館） 須田 百合子（～2024年6月）（ホテルニッコーサイゴン） 小林 南奈（2024年7月～）（ホテルニッコーサイゴン） 本多 智恵（ロジテムベトナムサウスサービス） 河内 綾夏（～2024年12月）（コニカミノルタビジネスソリューションズベトナム） 高橋 亜里沙（パソナテックベトナム） 野田 恵里子（サフェックストレーディング） 檜垣 柚（AABベトナム）

（順不同）

委員会名	委員長	副委員長	委員	
社会貢献委員会	臼井 勝彦 (サッポロベトナム)	八瀬尾 大輔 (川崎汽船)	南 景美 (イオンベトナム) 牛見 晴香 (ウェルビーベトナム) 高橋 理恵 (アビームコンサルティング) 赤木 友架理 (2024年10月) (国際交流基金ベトナム日本文化交流センター) 蜂須賀 真希子 (2024年11月～) (国際交流基金ベトナム日本文化交流センター) グエン フック アン (2025年3月～) (国際交流基金ベトナム日本文化交流センター) 白石 英之 (2024年10月) (在ホーチミン日本国総領事館) 弓岡 美菜 (2024年11月～) (在ホーチミン日本国総領事館) 小嶋 洋史 (サッポロベトナム) グエン テュー タントツイエン (三井住友銀行) 小穴 健悟 (三井住友銀行) ザー キム ガン (2024年12月) (三菱UFJ銀行) ザー トゥン ラン チー (2025年1月～) (三菱UFJ銀行) 和田 健一郎 (2024年9月) (インターフード) 大森 慎也 (2024年10月～) (インターフード) 松谷 亮 (弁護士法人One Asia ベトナムオフィス) 伴 遥奈 (2024年8月) (双日ベトナム) 柴山 和陽 (パーソルケリーベトナム) 石原 弘之 (2025年3月～) (パーソルケリーベトナム) 永井 七奈 (2025年1月～) (マネーフォワード) 加藤 真希 (2025年1月～) (全日本空輸) ダウティー ジェム ハン (2025年1月～) (全日本空輸) 角野 美月 (2025年2月～) (ベトナム岩谷) 古屋 秀規 (2025年3月～) (KPMG)	
スポーツ・文化委員会	岩本 英久 (東京海上ベトナム)	小野瀬 貴久 (EYベトナム)	昆野 諒介 (EYベトナム) 沼田 翔 (インターフード) 檜垣 柚 (AABベトナム) 宮浜 健一 (エスファイブサイゴン) 山口 晋平 (キュービーベトナム) 升本 草原 (2024年12月) (セコムベトナムセキュリティサービス) 野田 純世 (2025年2月) (セコムベトナムセキュリティサービス) 中村 昭広 (2024年11月～) (セコムベトナムセキュリティサービス) 吉川 千尋 (2024年7月) (双日ベトナム) 中山 慎一郎 (双日ベトナム) 堀江 勇輝 (東京海上ベトナム) 伴 篤史 (東京海上ベトナム) 松本 暁 (2024年10月) (豊田通商ベトナム) 光田 佳史 (日鉄物産ベトナム) 新井 咲里 (日本ベトナム肥料) 森田 淳 (みずほ銀行) 大橋 賢尚 (三井住友銀行) 中村 伸 (三菱UFJ銀行)	
日本人学校運営委員会	上阪 克之 (全日本空輸)	平田 周二 (ベカメックス東急)	豊嶋 俊彦 (ホーチミン日本人学校 校長) 照田 はる菜 (ホーチミン日本人学校 PTA会長) 厚川 正人 (双日ベトナム) 三輪 佳彦 (ベトナム三菱商事) 波多野 直也 (2024年8月) (三菱UFJ銀行) 佐藤 啓 (2024年9月～) (三菱UFJ銀行) 小林 功典 (安藤・間 ホーチミン駐在員事務所)	

(順不同)

委員会名	委員長	副委員長	委員
企業交流 委員会	加賀本 崇至 (三菱地所ベトナム)	久米 邦英 (ベトナム三菱商事) 工藤 拓人 (キャストグローバル・ロー・ベトナム)	松本 暢之 (JETRO ホーチミン事務所) 鈴木 杏里紗 (NNAベトナム) 中野 葉月 (ピープルリンク) 監物 秀樹 (ベトナム日本人材開発インスティテュート(VJCC)) 加藤 真希 (全日本空輸) 横井 仁和 (サッポロベトナム) 渡辺 紀秋 (カメイベトナム) 井中 冴香 (アイコニック) 平津 拓郎 (みずほ銀行) 村田 雄一 (ホテルニッコーサイゴン) 須田 百合子(～2024年6月) (ホテルニッコーサイゴン) 小林 南奈(2024年7月～) (ホテルニッコーサイゴン) 内村 祐介 (三菱地所ベトナム)
広報委員会	中村 正樹 (～2024年12月) (電通ベトナム) 大木 直伸 (2025年1月～) (ベトナム住友商事)	大木 直伸 (～2024年12月) (ベトナム住友商事)	岩本 英久 (東京海上ベトナム) 金山 純 (三谷産業ホーチミン駐在員事務所) 渡辺 顕恵 (弘亜社ベトナム) 櫻井 岳幸 (バイタリフィアジア) 福田 賀優 (オロベトナム) 坂本 隆太 (サクラエコロジー) 丸山 誠史(～2024年6月) (ALSOKベトナムセキュリティサービス) 八木 修哉(～2024年9月) (AnyMind Vietnam) 滝野 恭平(2024年10月～) (AnyMind Vietnam) 白石 英之(～2024年10月) (在ホーチミン日本国総領事館) 宮地 織恵(2024年11月～) (在ホーチミン日本国総領事館) 野田 恵里子 (サフェックストレージ) 吉岡 裕太 (ベクトルベトナム) 豊永 厚暢 (博報堂ベトナム) 関本 嵐嵐(2024年10月～) (博報堂ベトナム) 米里 隆明(2024年12月～) (電通ベトナム)
組織・規約 委員会	白木 友宏 (丸紅ベトナム)	荒井 泰資 (ベトナム日本製鉄) 岡田 英之 (TMI総合法律事務所)	水上 貴博 (第一生命ベトナム)

(順不同)

部会理事一覧（2025年3月時点）

商工部会	理事 定数	部会長	副部会長	理事
貿易部会	5	山本 亮太（～2025年3月） （リコーベトナム） 江利川 聡彦（2025年4月～） （豊田通商ベトナム）	大木 直伸 （ベトナム住友商事）	久米 邦英（ベトナム三菱商事） 砂金 智之（双日ベトナム） 南 和宏（～2024年11月）（クラレトレーディング） 江利川 聡彦（2024年12月～）（豊田通商ベトナム）
建設部会	4	戸島 千秀 （カジマベトナム）	猪股 信二 （ニッケンインターナショナルアジア）	宮崎 真次（大成温調ベトナム） 喜多 美佐子（オカムラベトナム）
運輸部会	3	今津 麗 （ロジテムベトナム）	大和 正幸 （SG佐川ベトナム）	宮城 孝浩（日本航空）
第一サービス部会	4	横山 和寿 （横山会計ベトナム）	工藤 拓人 （キャストグローバルベトナム）	古川 直正（ブレインベトナムサービス） 中村 正樹（～2024年12月）（電通ベトナム） 米里 隆明（2025年1月～）（電通ベトナム）
第二サービス部会	3	中村 正樹 （東急ディベロップメント）	市岡 宗芳 （ALSOKベトナムセキュリティサービス）	村田 雄一（ホテルニッコーサイゴン）
IT部会	4	寺田 大典 （ラクスベトナム）	風間 伸夫（～2024年5月） （ケイディディアイベトナム） 澤井 彰久（2024年6月～） （ケイディディアイベトナム）	グエン タントン（システムエグゼベトナム） 濱谷 直人（NECベトナム）
金融・保険部会	3	古屋 秀規 （KPMG）	田村 将史 （損害保険ジャパン）	和田 正明（～2024年6月）（みずほ銀行） 小熊 俊弘（2024年7月～）（みずほ銀行）
ホーチミン市部会	4	武村 先（～2024年6月） （出光興産ホーチミン鉱業所） 吉崎 脩平（2024年7月～） （出光興産ホーチミン鉱業所）	坂野 慎後 （富士フイルムビジネス イノベーションベトナム）	芳木 泰正（JFEスチールベトナム） 浦田 賢（三菱電機ベトナム）
タントアン・リンチュン 部会	3	鎌田 武（～2025年3月） （ベトナムテンパール工業） 廣部 正雄（2025年4月～） （古河オートモーティブパーツ）	廣部 正雄（～2025年3月） （古河オートモーティブパーツ）	今井 裕（サイゴンプレジジョン）
ビンズン部会	5	長戸 隆彦 （ベカメックス東急）	酒匂 孝教 （キングジムベトナム）	白子 修（トーモクベトナム） 宮浜 健一（エスファイブサイゴン） 川口 朋典（小田ベトナム）
ドンナイ部会	5	南良 勉 （味の素ベトナム）	石井 博之 （ロンドックインベストメント）	林 正敏（日華ベトナム） 片桐 晴一（ミツバベトナム） 福宿 伸一郎（コーケンベトナム）
ロンアン部会	2	原田 昌平 （双日協同飼料）	中隈 弘 （ベンカンベトナム）	
バリアブントウ部会	2	竹野 建二 （SMC TOAMI LIABILITY COMPANY）	市川 勇太 （オージーベトナム）	

（順不同）



ホーチミン日本商工会議所

住 所 : 1407 Sun Wah Tower, 115 Nguyen Hue,
Dist. 1, HCMC, Vietnam

電 話 : (84) 028-3821-9369

ファックス : (84) 028-3821-9370

業務時間 : 月曜日～金曜日 8:30～12:00, 13:30～17:00

休 日 : 土曜日、日曜日、ベトナム国の定める祝日、12月29日～1月3日

E-mail : info@jcchvn.org (日本語、英語、ベトナム語可)

Website : <https://jcchvn.org/>

FaceBook : <https://www.facebook.com/JCCH.ORG/>



JCCHホームページ



JCCHフェイスブック

